

第七十九回帝國議會
衆議院

日本銀行法案外二件委員會會議錄(速記)第六回

付託議案
日本銀行法案(政府提出)(第一七
號)
臨時金融庫法案(政府提出)(第
一八號)
臨時資金調整法中改正法律案(政
府提出)(第一九號)

會議

昭和十七年一月二十九日(木曜日)午前十時
十分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 板谷 順助君

理事橫川 重次君 理事田村 秀吉君

理事長井 源君 理事坂東幸太郎君

理事龜井貫一郎君

池田 秀雄君

大口 喜六君

菊池 良一君

木暮武太夫君

武田德三郎君

豐田 豐吉君

內藤 正剛君

仲井間宗一君

西村金三郎君

廣川 弘禪君

堀内 良平君

山本 条吉君

石坂 豐一君

河合 義一君

栗山 博君

水谷長三郎君

出席國務大臣左ノ如シ

大藏大臣 賀屋 興宣君

出席政府委員左ノ如シ

大藏次官 谷口 恒二君

大藏省銀行局長 山際 正道君

大藏省爲替局長 原口 武夫君

大藏省會社部長 田中 豐君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

日本銀行法案(政府提出)

戰時金融庫法案(政府提出)

臨時資金調整法中改正法律案(政府提出)

○板谷委員長 是ヨリ會議ヲ開キマス

○河合委員 私ハ日本銀行法案ニ付キマシ

テ一二御尋ネシタイト思フノデアリマス、

ソレハ第三十九條ニ「出資ニ付拂込金額ニ

對シ年四分ヲ下ラザル割合ノ配當ヲ爲スベ

シ但シ其ノ配當ハ年五分ノ割合ヲ超ユルコ

トヲ得ズ」斯ウ云フ風ニ規定サレテ居リマ

スガ、四分ト五分トノ間ノ配當ヲ支給スル、

斯ウ云フ利率ト云フモノハ何カ基ク所ガア

ルノデアリマス、或ハ又今後斯ウ云フ資

金ニ對スル利益金ノ利率ト云フモノハ、是

ガ適當デアルト云フヤウナ標準ヲ示サレタ

モノデアリマセウカ、其ノ點ヲ御伺ヒシタ

イト思ヒマス

○山際政府委員 日本銀行ノ出資ニ對シマ

シテ、年四分ノ割合ヲ下ラズ、又年五分ノ

割合ヲ超エザル範圍ニ於テノ配當ヲ認メル

ト云フ規定ヲ設ケテ趣旨デゴザイマスガ、

先ヅ最高限ヲ五分ニ抑ヘマシタ趣旨ハ、大

體今同ノ出資ノ性質ガ御覽ノ通り配當ハ或

ル程度保證サレテ居リマス、代リニ元本ノ

償還ハ實質上又確保セラレテ居リマスガ、

ソレ以上ノ殘餘財産ノ分配ニハ與カリ得ナ

イ、謂ハバ確定利附債券ニ餘程近イ性質ノ

モノニ相成ツテ居ルノデアリマス、隨ヒマ

シテ株式ノ配當ニ比ベマスレバ幾分確定

利附債券ノ利子ニ近イヤウナ所ニ其ノ限度

ヲ決メルコトガ必要デアリマセウシ、又稅

法上ノ取扱其ノ他カラ考ヘマシテ、純然タ

ル確定利附債券デモゴザイマセヌ、丁度其

ノ中間程度ノ所ニ限度ヲ設ケルノガ必要デ

ハナカラウカ、斯様ニ考ヘマシテ各種ノ金

利ノ情勢デアリマス、配當ノ模様デア

リマス、トカラ勘案致シマシタ結果、先ヅ五

分ト云フ所ガ適當デアラウト云フ意味合ニ

於キマシテ決定致シタモノデアリマス、隨

ヒマシテ此ノ五分ノ限度ハ日本銀行ト云フ

特別ノ組織ニ基ク關係ニ於テ決定致シマシ

タ限度デアリマス、之ヲ以テ直チニ他

ノモノニ及ボスト云フ考ヘハナイノデゴザ

イマス、日本銀行ニ付テ特殊ノ決メ方デア

ル、左様ニ御諒承願ヒタイノデアリマス、

ソレカラ下ノ限度四分ヲ抑ヘマシタ理由

ハ、是ハ大體國債ノ稅引利廻リデアリマス

トカ、又政府保證債券ノ利廻リデアリマス

トカ、各種ノ金利水準ヲ參酌致シ、又從來

ノ例ニ依リマシテ、配當ヲ補給致シマスヤ

ウナ場合ニ四分ト云フ例モ少クアリマセヌ

ノデ、是等ヲ勘案致シマシテ、先ヅ下ノ限

度ハ四分程度ニ抑ヘルノガ適當デアラウ、

斯様ニ考ヘマシテ、本案ノ如ク決定致シタ

次第デゴザイマス

○河合委員 尙御尋ネ致シタイコトハ、

前ノ日本銀行ノ株ヲ處分スルコトニ付キマ

シテノ規定ガ示サレタルヤウデアリマス

ガ、其ノ條項ニモ或ル一定ノ時期ニ於ケル

日本銀行ノ株ノ市價ヲ參酌シテ處置ヲスル

ト云フヤウナ意味ノ規定ガアルノデアリマ

スガ、現在ノ日本銀行株ノ市價ハドレ程致

シテ居ルデアリマセウカ、一寸承リタイト

思ヒマス

○山際政府委員 極ク最近ノ所ノ市價ハ舊

株デ申シマス、一株當リ五百五十圓見當

ト承知致シテ居リマス

○河合委員 サウ致シマス、舊株一株ニ對

シマシテ新日本銀行ノ株ヲ——ト申スハ

不適當デアルカモ知レマセヌガ、二口ノ株

ヲ支給スルト云フヤウニ定メデアリマスガ、

サウ致シマス、三百五十圓ノ開キガアル譯

デアリマス、之ニ對スル補償ノ規定モ示サ

レテアルノデアリマスガ、大體ドレ程ノ補

償ヲスルト云フ御考ヘデアリマス、承ルコ

トガ出來マシタナラバ承リタイノデアリマ

ス、ソレト併セマシテ、補償審查委員會ト云

フモノガ組織サレル筈ニナツテ居リマスガ、

其ノ委員會ノ構成ハドウ云フ風ニナサルノ

デアリマス、ソレモ承リタイト思ヒマス

○山際政府委員 補償ヲ致シマスル限度ニ

付キマシテハ、第六十八條ニ其ノ大體ノ骨子

ガ規定致シタルノデアリマス、其ノ第二

項ニ依リマス、補償金額算出ノ基準ハ現

在ノ日本銀行株式ノ昭和十五年度及ビ昭和

十六年中ニ於ケル時價ト、ソレカラ新シク

出來マスル日本銀行ノ出資者ノ持分ノ價格

六

トノ兩者ヲ參酌シテ之ヲ決メルト云フコトニナツテ居リマスガ、大體ハ其ノ差額ヲ補償スルト云フ考ヘ方デアリマス、此ノ基準ト致シマシテ昭和十五年、昭和十六年中ト云フ標準ヲ採リマシタノハ、斯様な場合ニ於キマシテ餘リ直前ノ短イ期間ノ價格ニ依ルトカ、サレバト申シテ非常ニ長イ間ノ價格ヲ見ルトカ云フコトデハ、却テ公正ヲ得マセヌノデ、大體此ノ兩年度位ニ互ツテ其ノ間ノ時價ヲ斟酌シテ決メタルガ適當デハナカラウカ、斯様ニ考ヘタ次第デアリマシテ、而シテ此ノ價格ヲ決定致シマスルニ當リマシテハ、此處ニアリマス通り補償委員會ノ議ヲ經ルコトニ相成ツテ居ルノデアリマシテ、此ノ補償金ヲ具體的ニ彈キ出シマス方法ハ、此ノ補償委員會ノ審議ニ依ツテ決定サレル、斯様ニ相成ツテ居ル譯デアリマス、補償委員會ノ構成ニ關シマシテ大體只今考ヘテ居リマス所ハ、大藏大臣ヲ會長ト致シマスル委員會デアリマシテ、關係各廳ノ官吏、又日本銀行ノ役員、ソレカラ民間ノ斯カル處置ニ付キマシテ學識經驗ノ深い人々、竝ニ私共ノ腹案ト致シマシテハ此ノ新シイ出資者ヲ或ル程度代表シ得ルヤウナ人達、斯カル人達ニ依リマシテ委員會ヲ構成シテ、適正ナル補償ノ算出ノ基準ヲ決定致シタイ、斯様ニ考ヘテ居ル次第デゴザイマス

○河合委員 此ノ機會ニ私ハ直接大藏省ノ所管ノ事務デアリマセヌケレドモ、少シ大藏當局ノ意見ヲ質シテ置キタイト思フ點ガアルノデアリマス、ソレハ只今モ御答辯ガアリマシタ四分ト五分ノ配當率ト云フモノハ、色々ナ點ヲ考ヘテ決メタト云フ御話デアリマシタガ、是ハ私ハ妥當ナル決メ方デアルト思フノデアリマス、所ガ是ハ農林省ノ所管事務デアリマスガ、其ノ統制經濟ノ段階ト致シマシテ、段々國策會社機構ガ常識トナリマシテ、物價ガ適正化サレ、生産、配給利潤ハ掣肘サレテ來タ今日ニ於キマシテ、非常ナ利潤ヲ擧ゲテ居ル一種ノ特權ヲ持ツテ居ル會社ガアルノデアリマス、ソレハ此ノ節甚ダ喧シクナツテ居リマスル生鮮食糧品ノ配給ノ機構ニ於キマシテ、最重要ナル任務ヲ持ツテ居リマス所ノ中央卸賣市場内ニ於ケル卸賣會社アルノデアリマス、此ノ卸賣會社ハ六大都市ノ中デ名古屋ダケニ中央市場ガ設置サレテ居ナイノデアリマスガ、他ノ東京、橫濱、京都、神戸、大阪、其ノ他ニ佐世保、高知、鹿児島、此ノ八箇所ニ中央市場ガ設置サレテ居ルノデアリマス、其ノ中央市場内ニアリマス各種ノ卸賣會社ノ利率ト云フモノハ非常ニ龐大ナモノデアリマス、此ノ資料ハ農林省ノ方ニ要求致シテ居リマスカラ、總テ私ハ明カニナルト思フノデアリマスガ、今私ガ茲ニ申上ゲルコトノ出來ル會社ダケニ付テ申上ゲマス、大阪ノ中央市場ニアリマス所ノ魚會社ノ資本金ガ一千七百萬圓デアリマス、其ノ中拂込済ノ金額ガ一千二百六十二萬五千圓デアリマス、所ガ此ノ中デ現物出資ト申シマシテ、何モ實ハ現物出資ヲシテ居ナイ、私ノ調査シタ所ニ依リマス、算盤一挺現物出資ヲシテ居ナイ、サウシテ現物出資ト云フ名ノ下ニ千百八十七萬圓ノ現物出資ヲシテ居ルコトニナツテ居ルノデアリマスガ、ソレニ對シマシテ現金ノ出資ガ五百十三萬圓、中拂込済額ガ八十九萬二千五百圓、斯ウ云フ譯デアリマスカラ、配當ハ六分ノ配當ヲシテ居ルト申シマスケレド

モ、實際拂込ミマシタ金額ニ對シマシテハ十二割五分ノ配當ニナツテ居リマス、横濱ノ生魚鹽乾株式會社ノ例ヲ取ツテ見マス、是ハ三分ノ配當ヲシテ居ルコトニナツテ居リマスガ、其ノ實ハ二十割三分二厘、斯ウナツテ居ルノデアリマス、全體ヲ通シマシテ八〇%ガ現物出資、即チ所謂老舖料ヲ全額拂込済ノ株金ニ引直シタモノデアリマシテ、之ニ對スル三分ナリ六分ノ配當ト云フモノガ、可ナリ龐大ナル配當ニナツテ居ルノデアリマスガ、現在是在ガ行ハレテ居ル、斯ウ云フコトヲ私ハ調ベテ驚イタノデアリマスガ、色々事情ヲ調ベテ見マス、此ノ會社ガ出來マシタ當時、大藏省ガ同意ヲサレテ居ル、斯ウ云フ擬裝ノ拂込ニ對シテ同意ヲサレテ居ルト云フ事實ヲ私ハ確カメタ、現在ニ於キマシテ農林當局モ表向キデハアリマセヌケレドモ、何トカ此ノ水膨レ資本ヲ水拔キヲシナケレバナラヌト云フコトヲ言ハレテ居ルヤウニモ傳ヘ聞クノデアリマスケレドモ、一日モ早ク此ノ水膨レ資本ヲ整理スル必要ガアルノデアリマス、其ノ當時ハ已ムヲ得ナカツタカモ知レマセヌケレドモ、今日此ノ生鮮食糧品ノ配給機構ノ問題ガ喧シクナツテ、物ガアツテ流レテ來ナイト云フコトハ、斯ウ云フ無茶苦茶ナ配當ヲ生産者ヲ消費者ニ負擔ヲサセテ居リマスカラ、物ガ出テ來ナイノデアリマス、是ガ最大ノ原因ナノデアリマス、斯ウ云フ事實ガアルニ拘リマセズ一方ニ於テハ日本銀行法ニ於テ大體資本ニ對スル配當ト云フモノハ四分乃至六分ト云フヤウナ標準ガ立テラレタ、斯ウ私ハ見テ居ルノデアリマスガ、然ルニ一方ニ於テハ二十割モノ配當ヲシテ居ル會社ガアリマシテ、人間ノ生活ニ必要

ナル程度カラ申シマス水や空氣ニ次イデ必要デアリマス所ノ生鮮食糧品ノ配給ヲ掌ツテ居リマス所ノ會社ガ、斯ウ云フ暴利ヲ貪ツテ居ル、其ノ結果物ガ流レテ來ナイト云フ事實ガアル、之ニ對シマシテ大藏當局トシテハドウ云フ風ニ現在デハ御考ヘニナリマスカ、一應伺ツテ置キタイ

○田中(豐)政府委員 只今ノ御質問ハ中央卸賣市場ナドノ設立ニ對シテ、農林省ノ原案ニ大藏省モ同意シマシテ、サウ云フ會社ガ出來テ居ルト云フコトデゴザイマスノデ大藏省ガ同意致シマス關係ハ資金調整法ノ關係デアラウト思ヒマスノデ、私カラ一應御答辯申上ゲマス、御話ノヤウニ中央卸賣市場ノ統合問題、是ハ色々ト難カシイ問題ガアツタト聞イテ居リマスガ、其ノ統合ノ關係上、統合スル人ノ從來營業權或ハ老舖料ト云ツタモノヲ相當ニ見積リマシテ、之ヲ資本金ト致シテ居ル譯デアリマス、隨ヒマシテ三分配當或ハ六分配當ト申シマシテモ、現金拂込ニ對シマシテハ御話ノ如ク十二倍或ハ二十倍ト云フヤウナコトニナツテ居ルノカト思ヒマス、要スルニ從來ノ營業者ノ營業權或ハ老舖料ト云フモノヲ資本金ニ見タコトガ餘リニモ過大デアルカドウカ、或ル程度營業權其ノ他ハ、當然會社合併ノ場合ニ於キマシテハ認メルノガ普通デアリマシテ、殊ニ卸賣問屋ノ營業權ノ如キモノハ大體ニ於テ見テ居リマスガ、其ノ價格ガ適當カドウカト云フ問題ニ歸着スルト思フノデアリマス、卸賣業者ヲ統合シテアア云フ會社ヲ作リマス上ニ、其ノ必要カラソレダケノ營業權ノ認定ト云フヤウナコトニ相成ツタモノト想像シテ居リマスガ、其ノ結果サウ云フ暴利ヲ貪ツテ、國民ノ生活

ニ最モ緊要ナ魚ガ配給サレナイコトニナル
カドウカト云フ點ハ、假令資本金ガ相當水
膨レニナツテ居リマシテモ、魚ノ配給ニサ
ウ影響ノアル問題デハナイノデハナイカト
云フ氣モ致シマスケレドモ、何ニ致シマシ
テモ、營業權ガ相當水膨レニナツテ會社ノ
基礎ヲ危クスルト云フヤウナコトハ、是ハ
當然宜シクナイコトデゴザイマス、只今突
然同ヒマシテ能ク事情ハ承知致シマセヌケ
レドモ、尙ホ能ク調査致シタイト存ジマス
○河合委員 只今ノ御答辯デアリマスガ、
實ハ私モサウ云フ風ニ考ヘテ居タノデアリ
マス、老舗料ヲ現金支出ニ見直シテ拂込ガ
出來タヤウニ私モ考ヘテ居タノデス、中央
市場ノ外デ營業シテ居ル者ヲ場内ニ吸收
スル爲ニ、此ノ方法ガ必要デアツタヤウニ
私モ諒解シテ居タ、所ガ能ク調べテ見マス
ト、第四十六回帝國議會デアノ中央市場法
ガ制定サレタノデアリマスガ、其ノ當時ノ
本會議ニ於ケル速記録或ハ委員會ニ於ケル
速記録ヲ逐一私ハ讀ミデ見マシタガ、アノ
法ノ精神ハ、中央市場ガ出來マシテ、其ノ
影響ヲ蒙リマシテ、今マデ市場外デ營業シ
テ居ツタ者ガ、營業ガ立チ行カナイト云フ
ヤウナ場合ニハ補償ヲシテヤル、併シ何等
カノ形デ場内ニ入ツテ來テ營業スル者ニ對
シテハ補償シナイト云フ建前ニナツテ居ル
ノデアリマス

○板谷委員長 河合サン、御話中デアリマ
スガ、ソレハ本案ニ關係ノナイコトデアリ
マスカラ、成ベク簡單ニ御願ヒ致シマス
○河合委員 宜シウゴザイマス、ゾレデハ
モウ少シ時間ヲ拜借致シタイト思ヒマス、
所ガ茲ニ二十人ナリ十五人ノ卸賣業者ガ中
ニ入ツテ來マシテ、十五ノ店ヲ中央市場内
ニ持ツト云フコトハ甚ダ複雑デアルカラ、
一ツノ會社ニシヨウデヤナイカト云フ話ガ
出來マシテ、アレハ單一ノ會社ガ出來タノ
デアル、其ノ現金拂込ヲスル時ニ、現物出
資ト云フ名目デ擬裝ヲシテ拂込シタノデア
リマス、私ハ商法ヲ嚴格ニ解スルナラバ是
ハ違法デアルト思ツテ居ル、サウ云フ譯デ
アリマシテ、アレハ今私ガ承リマシタ御答
辯トハ事實ガ違フノデアリマス、尙ホ是カ
ラ能ク調査シテト云フ御言葉ガアリマシタ
カラ、十分御調査ヲ願ヒマシテ、是ガ妥當
デナイト云フコトナラバ、假令是ガ農林省
所管ノ事務デアリマシテモ、成立ノ時ニハ
大藏省ガ同意ヲサレテアア云フコトガ出來
タノデアリマスカラ、責任ガアルノデアリ
マス、過日來カラモ本會議ニ於テモ委員會
ニ於テモ責任ト總意ニ於テト云フヤウナ言
葉ヲヨク聽クノデアリマスガ、今ノオ役人
程無責任ナモノハナイ、ヤリ放シデアリマ
ス、斯ウ云フ風ニ國民ガ非常ニ迷惑ヲシテ
居ルノデアリマスカラ、只今ノ御答辯ノ中
ニハ決シテ水膨レ資本ガ禍ヒヲシテ居ルノ
デハナイト云フコトヲ申サレマシタガ、私
ハ其ノ反對ノ意見ヲ持ツ事實ガ澤山アリマ
スケレドモ、時間ガ掛リマスカラ申上デマ
セヌ、斯ウ云フ重要ナ事柄ニ對シマシテハ、
一ツ大藏省ニ於テモ責任ヲ持ツテ能ク調査
ナサレマシテ、是ガ不穩當デアルナラバ、
農林省ノ方トモ一ツ話合ヲサレマシテ、之
ヲ是正サレルコトヲ希望致シマス、是デ私
ノ質問ハ終リマス

○板谷委員長 喜多壯一郎君
○喜多委員 昨昨日ノ質疑ニ續キマシテ
政府當局ニ御尋ネ致シマス、昨日戰時金融
金庫ガ共管主義デ行クノカ、ソレトモ大藏
省ノ一方主義デ行クノカ、或ハ細カイ點ハ
兩省協議シテ行クノカト云フコトヲ御尋ネ
シマシタ所ハ、國民更生金庫ガ出來マシ
テモ開店休業時代ガアツタト云ツテ、國民
カラノ批判モ受ケタ、此ノ場合ニ國民金庫
ソレ自體モ實ハ氣ノ毒ナノデアツテ、ソレ
ニハ一方ニ商工當局ガモツト集團ノ轉廢
業ヲ獎メテ行ケバ、却ツテ國民金庫モ働キ
得タト云フ事實モ私共ハ認メルノデアリマ
ス、然ルニソレガ遅レテ居ツタ、其ノ上ニ
又商工省ノ中小企業整理統合ニ對スル根本
的ナ態度ガ、時々動搖シテ維持育成ト云フ
風ナコトガ來レバ、勢ヒ大藏當局モ、更生
金庫ニ對スル點デ、手加減ガ出テ來ルト云
フ風ナ前例モアルモノデスカラ、産業設備
營團ト今度ノ戰時金融金庫トノ關係ニ付テ
私ハ共管主義デ行クノカ、一方的デ行クノ
カ、ソレトモ緊密ナ連絡ヲ取ル協議デ行ク
ノカト云フ御尋ネヲシタノデアリマスガ、
大臣モオイデスカラ改メテ私ハ次ノ問題
ヲ之ニ關聯シテ、大臣ニ御答辯ヲ願ヒタイ
コトハ、私共ノ考ヘデハ此ノ大東亞戰爭ノ
勃發ト同時ニ、今後ノ日本ノ産業金融ト云
フモノハ、モウ金融資本主義的ノ産業金融
機構デハイケナイノダ、寧ろ産業資本主義
的金融機構トデモ云ヒマスガ、例ヘバ産業
其ノモノガ金融力ヲ誘導スルト云フ風ナ段
階ニ來タノダカラ、普通ノ營利法人タル産
業ノ方ノ側ノ企業形態ガ營利法人タル會社
形態カラ、營團ト云フ風ナ國家企業ト營利
會社トノ中間的ノ企業形態マデ出テ來タノ
ダ、ソレニ對應スルモノハ銀行デナクシテ
今日茲ニ上程サレテ居ル金庫ト云フ風ナ性
格カラ言ヒマス、ヤハリ大キナ時代の影
響ヲ受ケタモノガ出テ來タノダト、斯ウ解

釋スルノデアリマス、ソコデ私ハ戰時金融
金庫ト産業設備營團トニ付テハ、昨日アナ
タノ部下ノ方カラ、ヨリ緊密ナ連絡ヲ取ツ
テ協議ヲヤツテ協調スル所ハ力ヲ合ハセテ
ヤツテ行クト云フコトデアリマスカラ、ソ
レニ信賴ヲシテ細カイ點ハ打切ツテ置キマ
ス
此ノ點カラ改メテ御尋ネシダイコトハ、
日本協同證券會社ガ之ニ統合吸收セラレ
ト云フコトデアリマスガ、是ハ當然ダと思
ヒマス、株價安定機關トシテノ協同證券會
社ヲ統合吸收シテ、其ノ働キヲサセルト云
フコトハ、時節柄戰時金融一元化主義ト云
フ建前カラ言ツテモ、當然サウアルベキコ
トデアリマスガ、殊ニ株式ノ應募引受機
能ガ之ニ與ヘラレルコトハ、戰時産業、特
ニ大キナ設備ヲ持タナケレバナナイ戰時
生産業ハ、自己資本ニ依リヨリモドウシテ
モ借入資本ニ依リマスカラ、茲デ斯ウ云フ
機能ガ與ヘラレルコトハ宜イノデスガ、此ノ
金庫ハ協同證券會社ヲ統合吸收シタ結果、
協同證券會社ハ自ラ其ノ株ヲ引受ケタ場合
ニ、或ハ株式取得ニ依ツテ直接事業經營ニ
參加スル方針ヲ持ツテ居ルノデアリマスガ、
其ノ點ハ全然棄テテ顧ミナイノカ、其ノ點
ニ付テ大藏大臣ノ御意見ヲ伺ヒマス
○賀屋國務大臣 國家ガ強力ナ國防國家體
制ヲ取ツテ參リマシテ、總テノ經濟ハ計畫
ヲ基本トシ、其ノ目的ヲ實現スル爲ニ統制
ノ方式ヲ採ツテ參ルト云フ時ニ於テ、金融
ガ唯金融本位ニ動キ得ル譯ハアリマセヌ、
産業モ唯産業本位ニ動キ得ル譯ガナイノデ
アリマス、産業モ國防力ノ増強ヤ國民生活
ノ確保、此ノ目的ノ爲ニ動カナケレバナラ
ヌシ、金融モ其ノ目的ノ爲ニ動カナケレバ

ナリマセス、特ニ金融ノ主要ナル點ハ、戰時ニ於テハ戰費ノ調達デアリマス、又戰爭經濟力、國民生活確保ノ爲ノ經濟力ノ確保ノ産業資金ヲ賄フト云フコトガ相違シテ重大使命デアリマス、其ノ最モ顯著ナル第一着手ハ、昭和十二年度ノ資金調整法デアリマス、之ニ依ツテ戰時ニ必要ナル資金ノ供給、ソレハ國債ト産業資金デアリマスガ、ソレニ金融機關ニ集マツタ資金ガ全力ヲ盡シテ向ヒマシヤウニ、大局の方途ヲ立デマシタノガ初マリデアリマシテ、ソレ以來金融機關ハ其ノ強力ナル統制ノ下ニ其ノ任務ヲ果シテ參ツテ居リマス、此ノ意味ニ於テ戰時金融ナラザル金融ナシ、産業金融ナラザル金融ハ殆ドナイ、**「コンマーシャル・バンク」**ハ、**「インダストリアル・バンク」**ニ轉換シツツアルト云フコトハ私ノ持論デアリマス、隨テ金融獨自ノ見地ニ於テナス金融ハ既ニ形ヲ潜メテ、皆戰費ノ調達ト戰時ニ必要ナル産業金融ヲヤル、産業力ヲ維持育成シテ行ク爲ノ働キヲスルト云フコトニ一貫シテ參ル方針デアリ、又大局ハ既ニ參ツテ居リマシテ、尙ホ其ノ上ニソレヲ其ノ方向ニ進メテ參リタイト存ジテ居リマス、御話ノ如クサウ云フ見地ニナリマス、産業ニ於テモ其ノ企業トシテノ収益性ガ、從來ノ觀點カラ確カデアルト云フ以外ニ、國家ノ爲ニ必要ナル産業ハ之ヲ實行シテ行カナケレバナラス、投資ヲシテ行カナケレバナラスト云フコトニナリマス、又金融モ、形式ハ或ハ株ノ引受モアリマセウ、社債ノ引受モアリマセウ、貸出ヲヤルモノモアリマセウガ、ソレヲヤツテ行カナケレバナラス、斯ウ云フ建前ニ段々ナツテ居リマス、併シサウ云フ建前ニナツテ參リマス、多クノ戰

時企業ノ中デ妥當ナル収益性モ明白デアリマシテ、企業形態トシテモ、金融形態トシテモ、從來ノ企業形態、金融形態ヲ賄フモノモ相當ニ多イデアリマスガ、ソレデハ賄ヒ切レナイ、一見企業ノ非常ニ「リスク」ノ多イト考ヘラレルモノガ相當ニ出テ參リマス、而モソレガ戰力ノ増強、國家經濟力ノ増強ニ是非必要デアルト云フモノガ多數出テ參リマス、又企業ニ致シマシテモ、或ルモノハ國家的目的カラ其ノ設備ヲ他ニ轉用スルコトガ必要デアリ、或ハ原料努力等ヲソレニ使用スルコトガ不適切デアツテ、遊休ノ儘置クト云フ風ナ、平時ニ見ラレナイ所ノ必要ガ生ジテ參リマス、斯ウ云フ方面カラ産業關係ニハ産業設備團ヲ設ケル必要ガ起リ、又金融方面ニハ戰時金融庫ヲ設ケル必要性ガ出テ參リマシタノハ大體御話ノ趣旨ノ通りダト思ツテ居リマス、隨テ凡ソル金融ガ總テ此ノ産業法人ト密接ニナツテ參リマシテ、之ニ投資スレバ安全デアルト云フヤウナ觀點デハ許サレマセズ、先ヅ資金調整法認メラレタモノデナケレバ仕事ガ出來ナイコトニナリマス、殊ニ戰時金融庫ニスレバ、今ノヤウニ國家ノ爲ニ、金融建設ニ付テモ、而モ其ノ元利ノ償還方法ニ付テハ、從來ノ觀點カラスレバ不安ナモノニモ致ス譯ニナリマス、即チハ國家ノ産業計畫ト極メテ密接ナモノデアル、隨テ戰時金融庫ハ國家ノ産業計畫ニ依ツテ較量致シマシテ、其ノ中直接ニ設備ヲ致シ、或ハ自分ガ持つツツ云フ直接ノ働キハ産業設備團ガ致シ、或ハ資金ヲ引受ケル、金ヲ貸スト云フ方法デ、企業主體トシテハ民間ガヤツテ參リ、金融ハ戰時金融庫ガ受持つツツ云フコトデアリマスカラ、其ノ間密接

ナ連繫ヲ取ル必要ガアリマスノデ、役所トシテハ大藏省、商工省、法人ト致シマシテハ産業設備團、戰時金融庫、此ノ四ツノモノハ極メテ密接ナル連絡ノ下ニ參リタイト存ジマス
尙ホ協同證券ヲ吸收致シマスガ、是ハ戰時ニ於テハ株價ノ安定ト云フコトガ、産業ノ維持發達ニ極メテ必要デアリマスノデ、ソレヲ主眼ト致シマス、更ニ今回ハ戰時金融庫トシテ資金融通、即チ貸出ノ外株式ノ引受ヲ致シマス、詰リ政府自ラ設備スルニハ及バナイケレドモ、民間ノ自由ニ委セテ置イテハ、株式ノ引受ガ緊要ナル産業ニ對シテ思フヤウニ參リナイ場合引受ヲ致シマス、是ハサウ云フ意味デアリマスカラ、ズツト過去ニ於テアツタ如キ、金融資本ガ獨リ自分ノ資本ノ安全ヲ期スル爲ニ、色々産業ノ經營ニ乘込シテ行クト云フヤウナ考ヘハ毛頭ナイノデアリマス
○板谷委員長 喜多君ニ申上ゲマスガ、アタノ御質疑ハ政府委員デ宜シイト云フノデ、御計シタノデ、大臣ニ對スル質疑ノ先約ガマダ十名程溜マツテ居リマス、成ベク公平ニ取計ラヒタイト考ヘマスノデ、ドウカ又適當ノ機會ニ御質疑ヲ願フヤウニ致シマス——石坂豊一君
○石坂(豊)委員 私ハ大臣ノ御出席下サツタ機會ニ、極メテ簡單ニ二三ノ點ヲ御伺ヒシタイト思ヒマス、先ヅ日本銀行法ニ付テ伺ヒマスガ、本法ニ付キマシテハ、提案ノ際ニ大臣ヨリ懇切周到ナル説明ガアリマシテ、此ノ提案理由トシテ一カラ九マデノ理由ヲ擧ゲテ御説明ニナツテ居リマス、又其ノ後ニ於テモ各委員ト政府委員トノ質疑應答ニ於テ銀行局長ヨリ是亦懇切丁寧ニ御説明

ガアリマシテ、段々ト理解シ得タノデアリマスガ、唯一ツ大臣ニ御伺ヒシテ見タイノハ、本法改正ノ立案ニ付テハ、日本銀行法ヲ改正スルノハ當然デアルト云フ論ト、改正スルノハ最モ必要デアルケレドモ、此ノ戰爭ノ眞最中ニ改正セズデモ宜イデヤナイカ、勿論兌換券發行ノ特例モアリマスガ、ソレ等ノ點ニ付テハ別ニ戰爭遂行ノ爲ニ差支ヘナイデハナイカ、公債發行ニ付テモ、現在ノ日本銀行法ニ於テ着々ト處理シテ行クカラ差支ヘナイト云フ論モアルノデアリマス、蘇ツテ今期議會ニ提出サレテ居ル法案ヲ見ルト、戰爭遂行ニ關係アルモノニ限ラレテ居ルノデアリマス、先日來田村君、武田君等ト大臣ノ質疑應答ニ於テモ幾多質問ヲ繰返サレテ居リマスガ、私ハ、マダ斯ノ如キ大ナル立案ヲ特ニ此ノ戰時議會ニ提案サレタト云フ緊切ナル理由ノ核心ニ觸レテ居ラス、理解シ難イノデアリマス、其ノ點ヲ明カニシテ吾々ガ贊意ヲ表スル重要ナル資料ニシタイト考ヘマス、此ノ點ヲ一ツ簡單ニ御説明願ヒマス
○賀屋國務大臣 日本銀行條例ハ御承知ノヤウニ六十年モ前ノモノデアリマシテ、産業金融ニ付キマシテハ工業ニハ一切關係シナイト云フヤウナコトニナツテ居リマス、併シ所謂見返リ擔保ナドノヤリ方ニ依リマシテ、謂ハバ正面カラ申セバ條例ニ違反ラシテ居ルノデハナイカト思ハレルヤウナコトヲヤツテ、從來カラ辛ウジテ賄ツテ居ル、其ノ結果ドウカト申シマス、産業金融ニ付キマシテモ、今モ謂ハバ内證デヤツテ居ルヤウナ次第デアリマスカラ、所謂固イ一方デ少シモ融通ガ利カナイ、ト云フヨリモ素直ニ考ヘレバヤツテモ宜イコトモドウモヤ

リニクイ、ドウモ正面ヲ切ツテヤレナイヤ
ウナコトデアリマシテ、ソレデ國債ノ如キ
ハ高橋サシノ時代ニ思ヒ切ツテ日銀ガ引受
ケルト云フヤリ方ニシタモノデアリマスシ、
又はハマア戰費ノ賄ヒヲスルノデ誰モ異議
ナクヤツテ居リマスガ、例ヘバ社債ナドニ
付テモ、結局ハ國民貯蓄ノ増加デ、銀行ヤ
信託ヤ預金部ナドニ溜マリマシタ金デ消化
サレルノデアリマス、ソレガ時間的ニソコ
ニ金ガサウ集ツテ居ナイ、一方社債ヲ出ス
ト云フ必要ガアルト云フヤウナ場合デモ、
何トモ其ノ數箇月、數十日ト云フヤウナ間
ノ調節ヲ取ツテ參ルコトガ出來ナイト云フ
ヤウナ、窮屈性ヲ持ツテ居リマス、ソレヲ
自由ニヤレト云フト、今正直ニ言フト見返
リ擔保デ半分潜ツテ居ル、ソレヲ皆潜ルト
云フコトハ、ソレデハ餘リ機權ノ上カラ言
ヘバ亂レルコトニナル、規則ヲ尊重スレバ
全ク用ヲナサスト云フ、其處マデ參ツテ居
リマス、外國爲替ニ付キマシテモ斯ウ云フ
時ニナリマス、ドチシテモ日本銀行ガ最
後ノ尻ヲ握ツテ置カレバ動キマセヌ、
ソレモヤツテ居リマスガ、是モドウモ
表向キノ正々堂々デハナイノデアリマス、
殊ニ今後大東亞戰爭ニナリマシテ、ア
ノ廣イ共榮圈ト云フモノガドウシテモ日本
ヲ中心トシテ行カレバナラヌ、金融デ
モ日本ヲ中心トシテ行カレバナラヌ、
是ハ議論ノ餘地ハナイコトト思ヒマス、
此ノ場合ニ進ンデハ外國ト申シマスガ、統
治ノ形體ハ大體總理ガ構想ヲ示シテ居リマ
スガ、併シマダ確定ハ致シテ居リマセヌ
ガ、中央銀行ガ出來マシタ場合ニ、之ニ公
然ノ資本ヲ持ツテ乘出スト云フヤウナコト
モ今デハ出來マセヌ、併シサウ云フ必要ハ

起ツテ參ラウト思ヒマス、マダ開戦後日モ
淺イノデアリマスガ、作戰ノ進展其ノ他ノ
事態ニ依ツテハイツヤラナケレバナラヌカ
分リマセヌ、サウ云フ時ニサウ云フコトガ
出來ナイト云フコトデハ、是非非常ニ困ッ
タコトデアラウト思ヒマス、ソレカラ今マ
デハ日本銀行ト云フモノハ何シロ營利法人
デアリマスカラ例ヘバ所謂銀行ノ破綻ナド
ノ救済ニ乗出ス場合、尤モ銀行ガ非常ニ惡
クテ破綻スルト云フ場合モアルカモ知レマ
セヌガ、多クハ其ノ時ノ金融情勢ニ於テ何
カノ「ショック」デ一時預金其ノ他ノ支拂ガ多
イ、債權ト云フモノハ、サウ急ニ回收ノ出
來ニクイモノデアリマシテ、ソレヲ無理ニ
ヤレバ借リテ居ル者ハ非常ニ困ル、戰時產
業ニ支障ヲ及ボスト云フヤウナコトデアリ
マスカラ、其ノ時一時融通ガ付イテ堅實ナ
ル方針デ行ケバ金融機關ハ減ビナイデ濟
ミ、債權者モ無理ナ取立ヲサレナイデ濟ム、
隨テ戰時ノ經濟運営上ニ貢獻スル、又預金
者モ急ニ整理ヲスレバ預金ノ切捨テヲシナ
ケレバナラヌガ、サウ云フコトヲシナイデ
濟ム、モウ少シ力ヲ貸セバ信用制度ガ保タ
レテ行クト云フヤウナ場合デアリマシテモ、
明白ニ國家ノ法律デ規定シテ置キマセヌ場
合ニハ、ソレニ乗出スト云フコトハ危險ト
云ヘバ危險デアリマスカラ、日本銀行ハ營
利法人タル立場デ行カレバナラヌ、マ
アソコマデノ議論ハ出ナイカモ知レマセヌ
ガ、極論スレバ營利法人トモ言ヘル、サウ
云フ銀行ノ救済ニ規則ヲ無視シ、損失ノ危
險ヲ冒シテ乘出スト云フコトハ、ドウモ背
任罪ニデモナルト思ハレルノデハナイカト
云フヤウナ、兎ニ角本質的ニ國家ノ中央銀
行トシテ働ク感ジノ上ニ非常ニ拘束ヲ受ケ

マス、理事者ハ能ク分ツテ居リマスガ、建
前ガサウデアリマスカラ、相當思ヒ切ツテ
乘出スコトガ出來ナイ、サウ云フヤウニ到
ル處デ全面的ニ國家的ノ要求ニ副ハナイ、
都合ノ非常ニ惡イ方面ガ出デ居リマス、
殊ニ大東亞共榮圈全體ノ金融圈ト云フモノ
ハ、ドウシテモ金ヲ基礎トシテ參ルト云フ
コトハ不適當デアリマス、其ノ時代ニ大東
亞共榮圈金融圈ノ中心ニナリマス日本銀行
ガ、ヤハリ金ヲ基礎トシテ居ルノダト云フ
體制デ參リマスコトハ、新シイ大東亞金融
圈內ノ各地域ノ金融通貨制度ノ構想ノ上ニ
於テモ、是非非常ニ精神的ニ大キナ指導精
神ノ上ニ惱ミガ生ジテ來ルト私ハ思フノデ
アリマス、茲ニドウシテモ理義ヲ闡明ニシ
テ乘出ス必要ガアル、此ノ機會ニ理義ヲ闡
明ニスル必要ガアル、從來默認シテヤツテ
居ツタノダカラ條例違反デモ其ノ儘デ出來
ルデハナイカ、本來ハ金本位デヤラナケレ
バナラヌケレドモ、金ガナイカラ一時停止
シテ置クノダ、斯ウ云フ理念デ進ミマスコ
トハ、是非非常ニ事毎ニ障礙ガ起ルト存ジ
マス、是ハ速カニ素直ニ體制ニ移シテ進ム
ヨリ外ナイ、斯様ニ考ヘテ居リマス、是ガ
假ニ支那事變ガ直グニデモ濟ムヤウナコト
ナラヌ一年待ツテモ宜イト云フヤウナコト
ガアルカモ知レマセヌガ、斯ウ云フ本當ニ
國運ヲ賭シテ進ム大戰爭デアリ、其ノ結果
所期ノ如ク勝利ヲ得マシタ場合ニ於テ、大
構想ヲ描キマスニハ、ドウシテモ一番本元
ニナルモノハアア云フ六十年前ノ形態デハ
到底イカヌト思フ、斯ウ云フ理由デ提案ヲ
致シマシテ御審議ヲ願ツテ居ル次第デアリ
マス

應了解スル所ガアリマシタ、併シナガラ是
デ以テ現在ノ時局ヲ乗切ルノニ日本銀行ノ
現在ノ制度ハ行詰リニナツテ居ル、斯ウ云
フ風ニ見ルト云フコトモ穩カデナイト思ヒ
マス、日本ノ財界ハ日本銀行法ヲ改正シナ
ケレバ非常ニ行詰ツテ居ルノダ、斯ウ云フ
ヤウナコトハ宜クナカラウト思ヒマス、況
ンヤ大東亞共榮圈ノ中心ノ機關トナツテ行
クニ付テハ、大東亞共榮圈ナルモノハマダ
目下進行中デアリマシテ、今南方ニ進軍シ
テ居リ、此ノ遠征ノ戰ハマダ〳〵何處マデ
行クカ際限ガナイ、或ハ濠洲マデ行クカ、
印度マデ行クカ、其ノ點モ分リマスマイ、
先ヅ只今ノ所ハ銀行ノ今マデノヤリ方ニ於
テヤリ得ルモノデアルト云フ議論モ立ツ、
私ハ其ノ點ハ能ク分ラナイガ、私ハヤハリ
今大臣ノ御説明ニ依ツテ大イニ了解スル所
ガアリマシタガ、或ハ昨年兌換銀行券條例
ノ一時ノ便法ノ法案ヲ提出セラレ、段々支
邦事變ヲ四年間ヤツテ、色々差支ヘノアル
モノハ皆別ナ法律デゾレ、處理シテ來タ
ト思ヒマス、今日戰時金融庫法案ヲ御出
ニナツタノモ、一時戰時ニ處スル金融ノ一
便法デアアルノデアリマスカラ、其ノ點カラ
考ヘマス、特ニ今ノ時期ヲ選バレタト云
フ理由ニ付テハ、今少シ辯ジテ審カナラザ
ル點モアルカノヤウニ考ヘマス、ソコデ本
法ヲ御提案ニナラレタ第一ノ理由ハ能ク了
解スルコトガ出來マシタガ、併シ日本銀行
ハ今營利法人デアルト仰シヤルケレドモ、
今マデハヤハリサウ云フ方面ニ依ツテ居ツ
タノデアリマセウガ、株式組織デハゴザイ
マスケレドモ、株式ヲ處理スルニハ一々政
府ノ許可ヲ要シ、又其ノ營業振ニ付テハ日
本銀行ニ對シテ嚴重ナル監督モ出來テ居リ

○石坂(豐)委員 只今ノ御説明ニ依ツテ一

マスガ、ソレヲ法的組織ニスルト云フコトニ付テハ、是ハ大ナル變化デアラウト考ヘマス、其ノ點ニ付テ一應御説明ヲ得ラレバ仕合セニ存ジマス

○賀屋國務大臣 行詰ルト云フコトニ私ハ二通りノコトガアルト思ヒマス、金融機關トシテ資産ガ不堅實ニナリマシテ、日本銀行ガ行詰マル、總テノ金融機關ノ行詰リト云フモノハ、サウ云フ意味デ言ハレマスガ、現在日本銀行ハ決シテ左様デハアリマセス、内容ハ非常ニ宜シイノデアリマス、寧ロ良過ギルト言ウテハワカシイノデスガ、相當内部留保モアリマシテ非常ニ良イ、唯國家ガ與ヘル機構トシテ古クナツテ居ル、詰リ着セテアル着物が餘リニ舊式ナ着物デアルト云フ意味デアアルノデゴザイマス、成程御話ノ如ク日本銀行ハ普通ノ營利法人ノ如ク儲ケヨウトシテ居ルノデアリマセス、ソレハ仰セノ通りデアリマスガ、建前ガ國家公共ノ爲ニナルノダト云フ明白ノ建前デアリマセヌ爲ニ、今ノヤウニ多少ハ損スルカモ知レヌケレドモ、全金融界ノ爲ニナルト云フ、此ノ乗出シガドウシテモ惡イノデアリマス、例ヘバ金利ヲ假ニ下ゲルト云フコトニ致シマシテモ、ソレデ今ノ金利ガ動クナラバ、一應下ゲル方ニ非常ニ宜イコトガアツテモ、一寸下ゲ難ル氣持ニナル、サウ云フヤウナコトデアリマシテ、積極的ニ儲ケヨウノ、サウ云フコトハサセモ致シマセヌ、理事者モシマセヌガ、多少斯ウヤレバ利益ガ薄クナルガ、國家的必要ガアルト云フ時ノ所謂出足ガ非常ニ拘束サレルコトニナル、又拘束サレルコトガ今ノヤウナ建前デスト一應ノ理窟ガアルノデアリマシテ、其ノ爲ニモノガ敏活ニ參リマセヌ、

是ハ今度ノ改正ニ依ツテ理事者モ安心シテ國家全體ノ爲ニ利益ガ減ツテモ何デモ行動シ得ル、ソコハ私ハ非常ニ違フコトニ相成ツテ參ルト思フノデアリマス

○石坂(豐)委員 此ノ公的組織トスルコトノ理由ハ、全國家ノ意思ニ副ツテ思ヒ切ツタ仕事ガ出來ル、斯ウ云フコトデゴザイマスガ、兎ニ角日本銀行ト雖モ金融機關デアリマスルカラ、ソレガ全然官廳ト同ジヤウナモノニナツテ行クト云フコトデアラナラバ、寧ロ政府デヤツタ方が宜イト云フ議論モ立ツ、今日ノヤウニ公的組織ノヤウナモノガ六分、後ハ又先程ノ御言葉ヲ借りルト、營業本位ノモノガ四分ト云フヤウニ緩和サレル所ニ、却テ私ハ妙味ガアルノデハナイカト思フ、ソレガ又財界ニ於ケル調和ヲ取ツテ行クトニモナルノデハナイカ、餘リ之ヲ全部公的組織ニシテ、役人ト同ジヤウニシテシマフト云フ所ニ、多少調和ガ取レナイヤウナ感シガ起リハシナイカ、斯様ニ考ヘルノデアリマス、ソコデハ大臣ニ質スマデノコトデナイカモ知レマセヌガ、公的組織ノ法人ニアリマシテ、所謂商法上ノ營業年限ト云フモノハナイコトニナルノデアリマスカラ、茲ニ日本銀行ニハ解散ト云フコトガ到底豫想サレナイ、所ガ只今提案ニナツテ居リマスル本法第十二條ヲ見マスト、「日本銀行ノ解散シタル場合ニ於テ」云云ト云フ規定ガゴザイマス、法律ハ總テノコトヲ豫想シナケレバナラヌノデゴザイマスカラ如何ナル場合デモ考ヘテ見ナケレバナリマセヌケレドモ、併シ國家ト共ニ存在スル公的組織ノ日本銀行ガ解散サレルト云フコトハ豫想サレナイ、ソレヲ故ラニ書イデゴザイマスノデ、其ノ點銀行局長カラデ

モ明カニシテ置イテ戴キタイ

○賀屋國務大臣 只今石坂委員ノ御述ベニナリマシタ前段ノコトニ付キマシテ尙ホ一應述ベテ置キマス、少シ私事ニナルノデ恐入りマスガ、私ハ北支那開發株式會社ニ關係致シテ居リマス時ニモ、痛感致シタノデアリマスガ、今ノ國家的——國家的ト申シマスノハ廣イ意味ノ、時局ノ要請ニ應ジマス爲ニ、株式會社カ、サウデナケレバ國ノ事業カト云フ二色デハドウモ思フヤウニ參リマセヌ、株式會社ト國ノ事業トノ中間ノモノガ要ル、國ノ事業トシテノ色彩デハドウモ旨ク行カヌシ、純然タル株式會社デハ今マデノ立場ト違フモノガアル、之ヲ實際ニ私共感ジマシタ

日本銀行ハ打明ケテ申シマスト一部ニハ直接國家機關トシテ全部國ノ資本ニスル、今御話ノヤウニヤツタ宜イト云フ說モアリ、又サウ云フ國モアリマス、私ハ日本銀行ナレバコソ純然タル國家ノ機關、國家ノ特別會計デモヤレズ、サウカト云ツテ普通ノ從來ノ民間ノ會社組織デモナイ、此ノ中間デ行クノガ一番宜シイ、日本銀行ノヤリマス手形ノ割引デアルトカ、爲替ノ賣費デアルトカ、之ヲ政府ノ仕事トシテヤルコトハ餘リ適當デナイト思ヒマス、サウカト云ツテ株式會社デヤルトスレバ株主ノ利益ヲ保護スルト云フコトガ重大ナ要素デアリマス、是ガ主眼デ動ク古イ形態デアルト云フコトハドウシテモ副ハナイ、ソレデ私ハ所謂國有思想ヲ排除シタイ、國家的目的ガアルカラ持分ヲ皆國ガ持タナケレバナラヌト云フ思想ハ、私ハ排除致シマシテ、寧ロ國民ノ凡ユル努力モ資産モノヲ國家的ニ働カセルヤウニスルノガ今

ノ時代デアアル、ソレダカラ全國家資本デアルトコトハ排除シマシテ、今ノ株主ガ其ノ儘持分ヲ持ツテ行ク民間資本デモ宜シイ、斯ウ云フ考ヘ方ヲ採リマシテ、サウシテ理事者ハ別ニ政府ノ役人デハナイ、斯ウ云フ建前ヲ採リマシタ、併シナガラ從來ノヤウナ古イ營利ノ臭ヒノスル純然タル株式會社組織ハドウシテモイカヌ、ソレデ今アリマス他ノ營團ナドモ斯ウ云フ風ニ一ツノ公共的ノ目的、形態ヲ持ツノガ一番適當デアルト云フ考ヘ方ヲ以チマシテ、詰リ純然タル私人ト純然タル國家トノ中間ノ行キ方ヲ考ヘテ居ルノデアリマス、金融ニ致シマシテモ大體ヤハリ利益ヲ得ルト言フト語弊ガアリマスガ、損ヲシテ人ノ世話ニナラヌト云フ責任の意味ニ於テ、從來ノ組織ハ私ハ初メカラ尊重スル積リデアリマス、産業組織デモサウデアルト思ヒマス、産業ヤ金融ノ全體ニモヤハリ從來ノ金融ノ考ヘ方ヲ以テシテ差支ヘナイト思ヒマスガ、ソレデヤリオホセナイ部分ニハ産業ニ於テハ産業設備營團モ出來、金融ニ於キマシテハ戰時金融金庫モ出來ルノデアリマス、唯純國家ト、純民間ト、其ノ中間トノ三色ノ使ヒ分ケガ必要デアル、日本銀行ハ其ノ中間ノモノデ行ク、斯ウ云フヤウナ大體考ヘ方ニ致シテ居ル次第デアリマス

○石坂(豐)委員 先ノ政府委員ノ御答辯ハ後デ拜聽スルコトニ致シマス、戰時金融金庫ニ付テ大臣ノ御所見ヲ伺ツテ置キタイノデアリマスガ、本法ノ眼目トスル國家緊要産業ト云フモノハ、勿論コソニ限定シテゴザイマセヌカラ、工業デアルトカ、造船其ノ他何業ニ拘ラズ、直接軍需ニ關係ノアルモノデアラウト、斯ウ解釋シテ宜シウゴザイ

マスカ、如何デゴザイマスカ

○賀屋國務大臣 其ノ事業ノ種類ニハ關係アリマセズ、今日ト致シマシテハ國家ノ存立發展上、一番多イモノハ、ヤハリ御示シノ如ク國防工業關係ノモノデアラウト思ヒマス、事業ニ於テハ限定致シテ居リマセヌ

○石坂(豐)委員 斯ク申シマスルノハ日本ノ今日地下埋藏物ノ鑛業ナシカニ付キマシテハ日本鑛業開發ト云フモノガゴザイマスカレドモ、兎角其ノ融資ニ付テハ遺憾ノ點ガ多イヤウニ伺ツテ居ルノデアリマス、茲ニ更ニ戰時金融機關ト云フモノデ之ヲ助長スルト云フコトガアリマスナラバ、大變其ノ點ニ於テ一段ノ開發モ出來ルト思ヒマスルガ、併シソレハ特別法ガアルカラ其ノ方ヘ行ケ、斯ウ云フコトニナリ、或ハ又種々ノ發電計畫等ニ付テモ、日本發送電ハヤツテ居リマスカレドモ、其ノ以外ノ地方ノ需要、而モソレガ直接製造工業ニ非常ナ動力ヲ供給スルト云フヤウナモノニナリマス、ヤハリ斯ウ云フ戰時金融ノ力ヲ借り方ガ餘程便利デアラウト考ヘマス、所ガ持つテ行キマシテモ、ソレハコチラノ方デハナイ、ソレハアチラニ行ケ、斯ウ云フコトヲ言ハレテハ困リマスカラ、此ノ點大臣ノ所見ヲ伺ツタノデアリマス、ソコデ私ガ更ニ御聽キシタイノハ、一面産業開發ノ爲ニ積極的活動ヲスルト云フ戰時金融金庫ガ、更ニ有價證券市場安定ノ爲ニ發動スル、サウシテ其ノ爲ニ先日大臣ノ御説明ニナリマシタ如ク日本協同證券、即チ昨年春出來テマダ一年シカ經タヌモノヲ抱ヘ込ムコトニナツテ居ルノデアリマス、喜多君ハ先程ハ一元化ニナツテ宜シイト仰セニナツテ、質問ヲ繼續シテ居ラルルノデアリマスルガ、マアソレモ宜イカモ知レ

マセスケレドモ、金融ノ如キハ是ハ必ズシモ

一概要ニ一元化スルコトハ出來ナイノデアリマスカラ、日本協同證券ト云フモノデ既ニ其ノ當時ノ財界ノ不安ヲ除キ社會不安モ一掃サレタ、又ソレガ爲ニ或ハ製造工業會社ニ付キマシテモ、自分ノ株價ガ安定シテ來マスト社債發行其ノ他ニ付テモ便宜ヲ得マスカラ、ソレガ廻リ廻ツテ生産擴張ニナルコトハ當然デゴザイマスカレドモ、何ラ申シマシテモ其ノ活動スルノハ有價證券デアリマス、サウ云フモノデアリマシテ是ガ一面産業開發ノモノト一緒ニナツテ居ルト云フコトニ付テハ、ドウモ餘リニモ店ガ廣過ギハセスカ、協同證券ノ活動ガ十分デナイトスルナラバ、ソレハ其ノ道デ之ヲ助ケル方法ガアル、現ニ之ニ付テハ五千萬圓ノ株式ガ二千五百萬圓ノ拂込デアツテ、尙ホ三千五百萬圓カノ金ガ低利資金ヲ以テ政府ガ援助シテ居ラレル、吾々ノ手許ニ廻ツテ居リマスル資料ニ依リマシテモ、之ニ依ツテ會社ガ六千萬圓以上ノ有價證券ヲ抱ヘ込ンデ居ルノデアリマス、マダ是ガ不足デアルトスルナラバ二千五百萬圓ノ拂込ノ餘地モアリマスルシ、政府ニ於テ相當ノ援助ヲセラルル方法モアラウト思ヒマス、而シテ之ヲ昨年設ケテ今直グ又戰時金融機關ノ方ニ背負込ムト云フコトハ、ドウモ戰時ノ生産擴張、増產計畫、國家緊要産業ヲ助長スルノデアルト云フノト多少見方ガ違フヤウニ思ヒマスガ、之ヲ一ツニセラレナケレバナラス其ノ理由ヲ大藏大臣ヨリ承リタイト思ヒマス

○賀屋國務大臣 日本協同證券ハ率直ニ申シマストマダ形ガ出來テ居ラナイ、アレハ株價ガ下リマス時ニ一定ノ、此ノ値マデハ維持スルト云フ時ニハ勇敢ニ買込ム譯デアリマス、私ハ事態ガ必要トスルナラ何十億デモ何百億デモ買ハス積リナノデス、サウ云フコトヲサセル爲ニハ、國家ノ損失補償モ何ニモナイ、謂ハバ臨時ノ形態デアリマスノデ、何カ本當ニ恰好ヲ付ケナケレバ、アノ儘幾ラデモ買ハスト云フコトハ、少シ形トシテ無理デアリマス、隨ヒマシテ今同ノ戰時金融金庫ノヤウナ、國家ガ完全ニ「バック」ニ立ツテ居ルモノガ實行スルコトガ必要ナノデアリマス、然ラバサウ云フモノヲ新クニ作レバ宜イデハナイカト云フコトモ一ツノ說デアアルカモ知レマセヌガ、實ハ日本協同證券ノ作用ト云フモノハ簡單ナノデアリマス、サウ別ニ多數ノ人ガ多クヤラナケレバナラスト云フヤウナコトデモナイノデアリマス、ソレカラ今ノ國家ノ産業資金ガ株價ガ平準ヲ得テ、一時ノ經濟情勢ニ依ツテ不當ニ下落スルコトナシカラ防ゲルト云フコトデアリマシテ、結局株價ノ維持安定カラ産業投資ノ確實發展ヲ期スルト云フコトガ其ノ目的ガ共通デアリマシテ、而モ「リスク」ノアルモノニ國家ノ背景ニ依ツテ勇敢ニ立向フト云フコトモ共通デアリマス、サウ幾ツモ戰時ノ法人ガ澤山出來ルコトモ如何カト思ヒマスカラ、成ベクナラ數ヲ少クシタイト云フコトモアリマスノデ、之ヲ一緒ニシタ方ガ適當デアルト考ヘマシテ、一緒ニスルコトニシタノデアリマス

○石坂(豐)委員 只今大臣ヨリ種々ナ金融機關ヲ幾ツモ設ケル、此ノ戰時ニ於テ機關ヲ濫立スルコトハ慎シマナケレバナラスト云フ御話デ、其ノ御趣旨ハ極メテ賛成デアリマス、所ガ此ノ戰時金融金庫ノ目的トシテ遊休設備ニ對スル金融ガアルノデス、之

ニ付テハ前々ノ議會ニ於テ産業設備營團ト

云フモノガ出來マシタ、ソレハ遊休設備ノ買潰シデアルトカ、或ハ又指導補足デアルトカ云フコトヲ專ラ使命トシテ居ルノデアリマスルケレドモ、其ノ事業ノ項目ノ最後ニ其ノ他必要ナルコトガ出來ルト斯ウナツテ居ル、デアリマスルカラ、其ノ當時提案サツタ際ニモ、委員會等ニ於テ之ニ必要ナル金融ヲ行ハセルコトガ必要デナイカト云フ質問モアツタノデアリマスカレドモ、ソレハドウモ目的ガ違フト云フコトデソレガ併用サレテ居ラス、併シ是ハ何モ遊休設備ベカリヲ主トシテ居ル譯デハナイカラ、ソレニ適當ナ金ヲ貸シテ改メテ軍需工場ニソレヲ使用スルコトモ出來ルノデアリマスカラ、サウスルト斯ウ云フヤウナ機關ガ幾ツモ要ラナイ、サウスルト大臣ハ前ニ産業設備營團ノヤウナモノヲ幾ツモ立テルコトハ宜クナイト言ハレタ、其ノ御趣意モ徹底スルノデアリマスガ、一ツハ商工省ノ關係デアリマスカラ大藏省トシテノ狭イ範圍カラ御考ヘニナルト別ナコトニナリマセウケレドモ、廣キ意味ノ國家即チ政府カラ見ルト、産業設備營團ニ一ツノ事業ヲ附加ヘテ之ニヤラセテモ差支ヘナイト考ヘラレルノデスガ、此ノ點ニ付テノ大臣ノ御所見ヲ伺ツテ置キタイト思ヒマス

○賀屋國務大臣 戰時金融金庫デ金融ヲ致

シマスモノハ、産業設備營團、詰リアノ意味ニ於ケル産業再編成ハ非常ニ廣イノデアリマス、若シモ假ニ其ノ關係ダケノ金融ヲ彼處デ付ケマス、ソレ以外ニモウ一ツノ戰時金融金庫ヲ作ラナケレバナリマセヌ、アレデ行ケバスツカリ仕事ガ濟ムト私ハ思ツテ居ナイノデアリマス

○板谷委員長 大臣ハ他ノ委員會カラ呼ビニ來テ居リマスカラ、成ベク簡單ニ明瞭ニ御質問ヲ願ヒマス

○石坂(豐)委員 ソレデハモウ一ツデ終リマス、大藏大臣ノ御説明ハ洵ニ私ハ満足シマスアレドモ、今ノ後ノコトニ付テハ、モウ一ツ作ラナケレバナラヌト仰セラレハ、私ハ作ラナイ爲ニサウ云フ方法ヲ御執リニナツタラドウカト言フノデス、産業設備營團ト云フノハ、優秀ナ幹部ガ居ラレテ、我が國ノ現在ノ産業ノアリト凡ユル工場其ノ他ニ付テノ智識ヲ傾倒セラレテ、是ハ壞ス、是ハ別ニ改造サセテ行クト云フ風ニ指導サレテ、ソレカラ新ニ斯ウ云フモノヲ作ツデモ宜イト云フコトニナルノデスカラ、サウ云フ所ヘ金融シテ呉レト持ツテ行ケバ、サウ云フ所ニ居ラレハ幹部ハ一番能ク分ル、ソコデソレニヤラシテモ別ニ罰モ當ラナケレバ、ドウナルコトモナカラウト思フ、皆融通無礙ニ出來ルモノト考ヘマスカラ、ソレデ大臣ニ所見ヲ伺ツタノデス、別ニ今ノ法律ト關係ナイコトデアルトモ思ヒマセヌカラ、一應御説明ヲ願ヘバ仕合セダト思ヒマス

○賀屋國務大臣 是ハ戰時金融庫ノ設立ノ理由ニモ申述ベテ置イタノデアリマスガ、從來興業銀行其ノ他ノ銀行ニ參リマス金融ノ中デ、非常ニ廣ク今マデノ金融ナドカラ見マスレバ危險ノ多イモノガアル、事業トシテハ必要デアアルガ果シテ其ノ事業ガ何年續クノデアラウカ、ドウ行クノデアラウカ、又或ハ製造方法其ノ他ガ斬新ナモノモアリマスカラ、技術者トシテハ確信ガアリマシデモ、世間的ニ其ノ方法デ旨ク行クカドウカト云フモノモ色々アリマシテ、ソレデ今マ

デ困ツテ居リマスノハ、然ラバソレハ國家緊要ノ産業ダカラ、勇敢ニ普通ノ金融機關ガ乗出シテモ一應ソレデ宜シイヤウデアリマスガ、普通ノ金融機關トシマシテハ、預金者ニ支拂ノ責任ヲ持ツテ居リマスカラ、ヤハリ堅實ナ貸出ヲ定メル、是ハ金融機關パカリデナク、國家的ニ見マシテモサウナシ、ソレデハサウ云フモノハ全部所謂損失補償ノ命令融資デアルト致シマス、實際國家ハ此ノ貸付ニハ損失ヲ補償シ、ヤハリ命令融資デアルコトカ必要デアルト云フコトニシナケレバナリマセヌカラ、各關係省ノ事務當局モ中々サウ急ニ意見ヲ纏メニクイ、事實ハ理窟カラ言ヘバ金融機關ガ自分ノ責任ニ於テ貸シ得ルモノカ、國家命令融資ニ依ツテヤリ得ルモノカト云フ風ニ岐レル等デアリマスガ、分ラナイ中間ノモノガ實際出テ參リマスカラ、長ク議論ヲシテ居レバドウチカラカニナリマセウガ、ソレデハ暇ガ掛ル、サウ云フモノガ非常ニ澤山アリマシテ、之ヲ一般のニドウシヨウカト云フコトハ一ツノ問題デゴザイマス、詰リ純危險ナモノト純安全ナモノノ何レニモ入ラナイモノガ澤山アリマス、サウ云フモノヲドウシヨウト云フコトハ十分考ヘラレネバナリマセヌ、サウ云フモノニハ所謂産業設備營團デ自ラ設備ヲシヨウカ、場所ニ依ツタラ金ヲ貸セバ出來ルカ、又遊休設備ニ付テハマダ問題モアリマスケレドモ、サウ云フ目的カラ行クト廣ク今ノヤウナモノガ存在シテ居リマスカラ、ソレデ結局金融部面カラサウ云フモノヲスツカリ拾ツテ行クト云フコトガ一ツデアツテ、前ノ説明ハ簡單過ギタカモ知レマセヌガ、設備營團關係ノモノダケ假ニソコヘ纏メタト致シマシテモ、モウ一ツ

何カ考ヘナケレバナラヌデヤナイカト云フ要求ガ起リマス、ソレデ金融上一生懸命ニアア云フモノヲ作りマシタ譯デアリマス

○板谷委員長 今度ハ武田君ノ順番ナシデスガ、大臣ハ南方開發委員會カラ頻リニ呼ビニ來テ居リマシテ、一寸行ツテ參ラレサウデスカラ……

○栗山委員 私ハ南方開發金庫法案モ大事デアリマスガ、實際ヲ言フト此ノ方ガ大事デ、是ハ親法案デス、ソレデスカラハ大臣ニ御願ヒシテ……

○板谷委員長 向フハ十分間デ質問ヲ打切ニスルサウデス、其ノ後諸君ニハユツクリ審議ヲ御願ヒシマスカラ——喜多君政府委員デ宜シケレバアナタノ質問ヲ繼續シマス

○石坂(豐)委員 私ノ質問ハマダ終ツテ居リマセヌ、マダ政府委員ニモ聽キタイノデアリマスカラ留保シテ置キマス

○坂谷委員長 喜多壯一郎君

○喜多委員 大臣ノ御説明デハ日本協同證券ハ經營モ簡單デ、人間モサウ要ラナイ、私モサウ思ヒマス、ソレデサツキノ續キデスガ、私ハ協同證券ト云フノハ一口ニ言ヘバ何ト云ツテモ株屋サン、兜町ノ仕事ダト思フノデス、一方協同證券ハ今度戰時金融庫ノ中ニ入ツテシマツテ、産業設備ニ關スル昨日カラノ説明ヲ承ツタヤウニ、極ク地味ナ仕事ヲスル、株屋ノ方ノ仕事ハ言換ヘレバ極ク浮氣ツポイント言フト語弊ガアリマスガ、浮キ——シタ經營デ言ヘバ赤イ賑カナ方デアリマス、ソレカラ産業設備ニ對スル方ノ投資融資ト云フコトカラ言ヘバ、戰時金融庫ハ極ク地味ナ不景氣ト云フヨリ人氣ノナイ色カラ言ヘバ灰色デスガ、是ハ一體經營ガ旨ク行クカドウカ、右ト左ト

馬鹿ニ違ツタヤウナモノガクツ付ケラレテ行クノデスガ、旨クヤツテ行クト云フ御考ヘデスカ、ドウ云フ御考ヘデ株屋サンノ方ノ仕事ト、地味ナ金貸ノ方ノ仕事トヲクツ付ケテ行クノカ、是ハ次官カラデ宜シイカラ御答辯願ヒタイ

ソレカラ結局私ハ昨日カラノ質疑ト、今ノ他ノ委員諸君カラノ質疑デ、ヤハリ制度ヨリモ人ニ依ツテ動クト云フコトヲ沁々感ズル、制度ダケデハ中々動カナイ、本法案ノ金庫ガ出來上ツテ來テ、日本産業政策ノ上ニ重要ナ役割ヲ致シテ行クト云フコトハ、無論ゴザイマスガ、此ノ點デ其ノ人的構成ニ付テハ、他ノ委員ノ質問モアツタヤウデアリマスガ、私ハ寧ろ是ハ金融的ナ「エキスパート」ヨリモ、産業的ト「エキスパート」ト云フ所ニ、此ノ地味ナ方ノ仕事ノ部門ヲ負擔スル人、處理スル人、サウ云フ意味デ其ノ方面ノ人ヲ入レルト云フコトヲ御考ヘニナツ居ルカドウカ、此ノ二點ダケヲ先ヅ御答辯願ヒマス

○田中(豐)政府委員 私カラ御答辯申上ゲマス、先ヅ第一點ハ日本協同證券ト云フヤウナ、所謂有價證券ノ市價ノ安定ヲ圖ルヤウナ仕事ヲ、ナゼ戰時金融庫ノ業務ノ中ニ入レタカト云フ御質問デアリマスガ、先程大臣カラモ一寸御説明ガアリマシタヤウニ、此ノ有價證券ノ市價ノ安定スルト云フコト自體ガ、現下ノ戰時ニ於ケル必要ナル投資融資ヲ導キ得ル所以デアリマシテ、申上ゲルマデモナク株價ノ甚ダシイ下落ハ國家ノ緊要産業ニ對スル必要ナ拂込金、増資ト云フヤウナモノヲ妨ケマシテ、必要ナル資金ガ集マラナイヤウナコトニナルト考ヘラレル譯デアリマス、隨テ此ノ戰時金融

金庫ガ是等ノ仕事ヲ致シマスコトニ依ツテ、自ラ資金ヲ供給シナクテモ、一般ノ投資家ノ資金ヲ集メ得ルト云フ風ニ考ヘラレノデアリマス、又逆ニ株價ガ甚ダシク上ルト云フヤウナコトニ付キマシテモ、其ノ方面ノ資金ノ流入ト云フコトカラ、延イデハ戰時金融ノ圓滑ヲ阻害スル譯デアリマス、戰時金融ノ可ナリ大キナ部面ヲ擔當シマス本金庫ニ於テ、斯カルコトモ併セテ擔當シマスコトニ依ツテ、戰時金融ノ目的ノ整備強化ヲ圖ルコトガ出來ル、斯様ナ考ヘカラ有價證券、市價安定ノ業務ヲモ、戰時金融金庫ノ業務ト致シタ譯デアリマス

ソレカラ第二ノ戰時金融金庫ノ運営ニ付テ、是ハ制度ノ問題ヨリハ人ノ問題デアル、斯カル戰時金融金庫ノ運営ニ付テハ、産業的ナ知識經驗多キ者ヲ入レテ、運営ニ當ラセルコトガ至當デハナイカイ云フ御趣旨ト拜承致シマシタ、是ハ洵ニ御尤モナコトデ此ノ金庫ノ運営ガ産業ト密接ナ關係ヲ持チマスコトハ言フマデモナイ、サウ云フ方面ノ人ヲモ本金庫ノ理事者其ノ他ノ方面ニ採入レテ運営ヲ圖ルコトモ考慮シ度イト考ヘテ居リマス

〔委員長退席、長井委員長代理着席〕

○喜多委員 此ノ金庫ニモ私ハ出來上ツテ活動スル時ニナルト同ジコトガ言ヘルト思フ、總動員法ニ依ル融資金令運用ニ付テハ大藏省ガ専ラヤツテ居ラレマスガ、是ガ始マツテ以來民間ニ於テ聞キマス不平ハ、大藏省ガ非常ニ調査ニ時日ヲ要スル、モツト仕事ガ分ツテ居ルナラバ早ク行クノデハナイカ、是ハ今後強制融資ニ付テモ企業監査ト云フ風ナコトヲモツト生産企業ソレ自體ノ實體ヲ擱ンダ方面ノ人ニ監査ニ當ラセル

ト、其ノ點ガ容易ニナリハシナイカト思フノデスガ、サウ云フ御意向ガアルカドウカト云フコトヲ一ツト、モウ一ツハ、兎ニ角戰爭ノ現段階デ入用ノコトハ誰モ彼モ分リマスガ、出テ來ルモノガ兎角バラ／＼デアツテ、此ノ金庫デモ、産業設備營團デモ、國民更生金庫デモ、厚生省方面ノ更生金庫ニ對應スル諸設備ト云フモノデモ、私ハドウシテモ現在ノ戰爭經濟ノ段階ニ於テ産業生産力ノ最高度ノ能率ヲ發揮スルト云フ意味カラ言フト、兎角資金ト資材ト同時ニ努力ト云フモノノ三ツガバラ／＼ニナリ勝チデ、官廳ノ「セクシヨナリズム」ガソコニ現ハレテ來テ居ルコトノ遺憾ヲ指摘セザルヲ得ナイ、大藏省ハ今後サウ云フ點ヲ金融體制ノ上カラ成ベク改メテ行クト云フ風ナ御意向ハアルノデセウカ、其ノ點ニ對スル御所見ヲ承ツテ置キタイ

○谷口政府委員 今ノ御話ノ第二ノ點デアリマスルガ、産業政策上ノ能率ヲ最高度ニ發揮スル爲ニ、資金ト努力、資材、是等ノモノガバラ／＼ニナラナイヤウニ能ク緊密ニヤツテ行カケレバナラヌト云フコトニ付キマシテハ、吾々ト致シマシテモ全ク其ノ通りニ考ヘテ居ルノデアリマス、是等ノモノヲ旨ク適合サセルト云フコトニハ餘程注意ヲ致サナケレバナラヌノデアリマシテ、吾々トシテ最モ戒心ヲ要スルノハ、若シ御話ノ如ク官廳間ニ割據主義ト云フモノガアツテ、其ノ割據主義ト云フモノガ、サナキダニ困難デアル所ノ資金、勞務、資材等ノ調整ヲ妨害スルヤナ方向ニ働キ掛ケルコトガアリマスルト、甚ダ本意デナイノデアリマシテ、吾々ト致シマシテハ、關係ノ官廳、資材、資金、勞務、是等ノ官廳ハ益々連絡ヲ

緊密ニ致シマシテ、苟クモ割據ノ弊ニ陥ルコトナキヤウ、御話ノヤウニ十分連絡ヲ執ツテ行クヤウニ心掛ケタイ、左様ニ考ヘルノデアリマス

ソレカラ第一ノ點ニ付キマシテハ、此ノ融資金令ニ付テ、サウ云フ金融機關ガ昨日龜井サノ仰シヤツタヤウニ、政府デヤツテ居ルコトデナクモ、ヤハリ官僚的デアルト云フコトガ色々物事ノ、ス早ク行カナイ原因デアアルカト思フノデアリマスルガ、是等ノ點ニ付キマシテ、着實ニ且ツ敏速ニヤルト云フコトニ付キマシテハ、今後大イニ指導シテ行キタイと思フノデアリマシテ、御話シノ中ニアリマシタヤウナ平素經驗ノアリマスヤウナモノガ、企業監査ヲ實行スル方法ニ付キマシテモ、十分考ヘ、且ツ實行致シテ參リタイ、左様ニ考ヘルノデアリマス

○喜多委員 私ノ質疑ハ是デ打切りマス

○長井委員長代理 政府委員ニ對スル質問ヲ留保サレテ居ル方ハ……

○栗山委員 誰モ質問スル人ガナケレバ一寸伺ヒタイノデスガ……

○長井委員長代理 栗山君

○栗山委員 私ハ大藏大臣ノ御出席ノ間ニ二點程御伺ヒシテ置キタイと思ツタノデアリマスルガ、既ニ前會モ發言ノ機會ヲ

〔長井委員長代理退席、委員長着席〕
許サレテ居リマスルカラ、色々實ハ御伺ヒシタイコトガアリマス、アリマスケレドモ二ツダケ御聽キ致シマシテ、ソレデ終ラウト思ヒマス、就デハ速記ヲ止メテ戴キタイと思ヒマス

○板谷委員長 速記ヲ止メテ

〔速記中止〕

○板谷委員長 栗山君、一寸御待チ下サイ——栗山君ノ只今ノ御話ニ對シテ此ノ際委員長ヨリ一言申上ゲマス、昨日龜井君ノ質疑ニ對スル政府委員ノ御答辯ノ記事ガ新聞ニ出テ居ルガ、ソレハ行違ヒガアルカラ釋明シタイト云フ、開會ニ先立ツテノ申込ガアツタノデアリマス、私ハ適當ノ時期ニ御許シスルト云フコトヲ御話シテ居ツタノデアリマスガ、ツイ其ノ機ヲ逸シテ居タノデアリマス、此ノ際ソレヲ許シタイと思ヒマス——山際政府委員

○山際政府委員 昨日、本委員會ニ於テ私が發言致シマシタコトニ關シ、本日ノ新聞紙上ニ、圓ノ價值ハ勞働ニ還元スルト云フ標題ノ下ニ、私が圓ノ價值ハ結局ニ於テ勞働「コスト」ニ還元サレルモノデアルト云フコトヲ申シタト云フ記事ガ掲ゲラレテ居ルノデアリマス、私ハマダ速記ヲ拜見スル機會ヲ得マセス爲ニ、的確ナコトハ申上ゲ兼ねマスケレドモ、私ノ記憶カラ致シマス、其ノ記事ニ現ハレタヤウナ趣旨ノコトハ、御答ヘ致サナカツヤウニ思フノデアリマス、私が記憶ヲ致シテ居リマス事柄ハ、圓ノ價值ヲ決定スル要素ニハ色々アリマセウガ、其ノ一ツトシテ勞働ト申シマス、勤勞ノ「コスト」ト云フモノガ役割ヲ持ツト云フコト自體ハ、ソレハサウデアリマセウト云フコトヲ申上ゲル積リデアツタノデアリマス、即チ私ノ考ヘハ正面カラ申上ゲマスナラバ、圓ノ價值ハ御承知ノヤウニ現狀ニ於テハ既ニ金カラ離脱致シテ居リマスガ、此ノ現狀ニ於テハ物資デアルトカ、勞力デアルトカ、其ノ他凡ユル國家ノ經濟力ガ即チ其ノ價值ヲ決定スルモノデアアル、又其ノ經濟力ノミ

ナラズ、之ヲ統轄スル所ノ國家ノ力、而シテ此ノ力ニ對スル内外ノ信賴コソガ、是ガ圓ノ價值ヲ終局ニ於テ決定スル、斯様ナ考ヘヲ持ツテ居ルノデアリマス、其ノ事ハ慥カ今週初メノ委員會ニ於キマシテモ私ハ左様ニ申述ベタ記憶ガゴザイマス、些カ誤解ヲ招ク虞モアリマス、時間ヲ戴キマシテ此ノ點ヲ附加ヘサセテ戴イタ次第デアリマス

○龜井委員 昨日私ハ御説明ヲ致サナイデ使ヒマシタノデ、所謂「マルクス」主義的ナ勞働價值論ガ入ツタヤウナ、非常ナ誤解ヲ御持チニナツタ向ガアツタノデハナイカト惧レマシテ、是モハツキリ訂正ヲ致シテ置キマスガ、結局人間ノ働キデ資本モ出來ルシ、其ノ資本ノ動キデ經營モ出來ルノデ、簡單ニ申シマスレバ、會社工場ノ收益率ガ貨幣價值ニ相當重大ナ關係ガアル、斯ウ云フコトヲ生産費ト云フ言葉ヲ使ツタ、ソレニ付テハ私ハ尙ホ後デ一寸收益率ノ面カラ御尋ネヲ致シタイト思ツテ居タノデアリマスガ、時間ヲ節約シタノデサウ云フ誤解ヲ生

ンダノデアリマス、收益率ト云フ意味ハ、單ナル會社ノ儲ケトカ、配當ト云フ意味デナク、資本ノ収益性ノコトヲ言ツテ居ル、誤解ガアルトイケマセヌカラ、此ノ際ハツキリ致シテ置キマス

○板谷委員長 栗山君、マダ御話ガアリマスカ

○栗山委員 私ハモウ一ツダケデスカラ、大臣御出席ノ時……

○板谷委員長 質問ハマダ明日モ切リガ出來ヌカモ知レマセヌシ、大臣ハ各委員會ガ御忙シイノデ、サウコチラデ占有スル譯ニモ行カスト思ヒマスガ、政府委員トシテ

山際サンナリ、田中サンナリハ他ノ委員會ニハオイデニナラヌヤウデスカラ、此ノ方ニ對シテハユツクリ質問ヲ願ヒマス——栗山君……

○栗山委員 私ハ速記ヲ止メテ貰ヒタイ

○板谷委員長 ソレデハ速記ヲ止メテ……〔速記中止〕

○板谷委員長 ソレデハ大臣ガ見エラレマシタカラ——武田徳三郎君

○武田委員 一昨日私ハ管理通貨ノ根本理念ト云フ意味ニ付テ大臣ニ伺ツタノデアリマスガ、大臣カラ一應ノ御説明ヲ拜承シタノデアリマス、併シ私ノ質問ノ冒頭ニモ申上ゲタル通り、此ノ管理通貨ノ是非ト云フコトハ學者間ニ於テモ何十年ト申スカ、何百年ト申スカ、議論ガ繰返サレテモ、未ダ定論ニ達シナイ問題デアリマスカラ、サウ云フコトニ付テ理論論争ヲヤラウトハ思ハナイノデス、大臣ノ一應ノ説明ハ、事務的ニ考ヘテモ私甚ダ了解ニ苦シム點モアリマ

シ、私自身ノ信念トハ相當背馳シタ御論モ伺ツテ居ルノデアリマス、併シ今日ノ場合、左様ナ理論論争ヲヤツテ居ル時節柄デモアリマスマイシ、現實ニ此ノ法案ニ關聯シテ私ノ尙ホ了解シナイ點ヲ一應伺ヒタイト思ヒマス、大體ニ於テ大臣ハ將來ノ貨幣ノ基礎ハ金ヲ裏付ケトシナイ、スル必要ハ認メナイ、國家ノ總經濟力ヲ背景トスレバ、ソレデ貨幣ノ信用モ維持出來ルシ、貨幣制度ハ圓滿ニ運行スルト云フ意味ノ御話デア

ツタノデアリマス、ソレモ一ツノ見解トシテ承ツテ置キマス、併シナガラ此ノ御提出ニナリマシタ提案ノ趣旨カラ窺ヒマス、必ズシモ大臣ノ御説明ノ通りニモナツテ居ナイヤウニ私ハ思フ、或ハ私ガ大臣ノ御言

葉 又御趣旨ヲ十分ニ了解シナイノカモ知レマセヌ、仍テ私ハ理論的ノコトヲ避ケマシテ、此ノ御提案ニ即シテ一ツ伺ヒタイト思フノデアリマス、此ノ御提案ヲ見マスルト、昨日ドナタカノ質問ニ對スル大臣ノ御答辯中ニモアリマシタシ、此ノ法案ノ七十

六條ヲ拜見シテモ其ノコトハ明カニナツテ居ルノデアリマス、即チ七十六條ニハ「貨幣法第十四條ノ規定ハ當分ノ内ニ適用セズ」ト書イテアリマス、詰リ自由鑄造ヲ當分適用シナイ、若シ眞ニ純然タル管理通貨ヲ御採用ニナルナラバ、斯ウ云フ自由鑄造ヲ當分停止スルト云フ條項ヲ入レル筈ハナイ譯デアリマス、又七十五條ノ日本銀行ノ保證準備トシテノ金ノ價格——是ハ意味ガ違ヒ

マスケレドモ、兎モ角「貨幣法第二條ノ規定ニ依ラザルコトヲ得」トアル、是ハ評價ノ方法デスカラ、七十六條ノ意味トハ少シ趣キガ違ヒマス、併シナガラ此ノ半面ニハ、日本ノ貨幣ノ基礎ハ貨幣法ニ依ツテ、金ヲ本トシテ、金ノ若干ノ量目ヲ以テ圓トナス、斯ウ云フコトハアルノデアリマスカラ、其ノ半面ヲ謳ツテアルコトハ明カデアリマスカ

ラ、即チ日本ノ貨幣ノ單位ハ圓ニアルト云フコトハ、趣意トシテハ私ハ認メザルヲ得ナイノデハナイカ、斯様ニ思フノデアリマス、貨幣法ハ此ノ二箇條ニ依ツテ變更ガアリマスケレドモ、貨幣法ノ根本精神タル第二條ニ何等變革ヲ加ヘラレナイ所ヲ見マスルト、日本ノ貨幣ノ基準ハ現在ニ於テ此ノ日本銀行法ガ假ニ成立致シマシテモ、尙ホ

金ヲ基本ニスルモノダト云フ觀念ヲ持ツテ差支ヘナイノデハナイカ、斯様ニ實ハ考ヘルノデアリマス、一昨日ノ御答辯ノ中、速記ガマダ出來マセヌデ、私ハ新聞ノ速記

ヲ見タノデアリマスガ、私ノ記憶ト違ハヌノデアリマスルガ、貨幣法トノ關聯デア

ルガ「貨幣法ハ圓貨ノ價值基準ヲ定メルモノデアリニ對シ、是ハ發券制度ノ問題デア

ル」、是ハト云フノハ日本銀行法ノコトデアリマセウ、「發券制度ノ問題デアツテ、自ラ立脚點ヲ異ニシテ居ル」斯ウ云フ風ニ

仰シヤツテ居ル、是ハ成程一應ノ理論デア

リマス、此ノ大臣ノ御説明ニ依ツテ見テモ、圓貨ノ價值基準ハ貨幣法ニ依ツテ、定

マツテ居ルト云フコトヲ御認メニナツテ居

ルノデアリマス、成程兌換券制度ハ、中央

銀行ノ發券制度ノ態様、效力、サウ云フモ

ノヲ定メルモノニハ相違ナイケレドモ、併

シナガラ圓ヲ表象スル所ノ、サウシテ法貨

デアル所ノ兌換券ハ、ドウシテモ圓貨ノ價

值基準ト云フモノヲ貨幣法ニ依ラザルヲ得

ナイコトハ當然デアリマス、今度御提出ノ

法案ニハ「日本銀行ハ銀行券ヲ發行ス、前

項ノ銀行券ハ公私一切ノ取引ニ無制限ニ通

用ス」ト日本銀行ニ銀行券ノ發行ヲ許シテ、

其ノ日本銀行ノ發行シタ銀行券ハ、詰リ法

律上ノ日本ノ貨幣法ニ定メタ貨幣ノ效力ヲ

國家ガ認メル、斯ウ云フノデアリマセウ、

然ラバ其ノ銀行券ハ即チ圓ヲ表象スル所ノ

國家ノ貨幣デアツテ、其ノ基礎ハ貨幣法——

大臣御自身ガ御説明ニナツタ如ク、其ノ貨

幣法ナルモノハ圓ノ價值基準ヲ定メテ居ル

モノデアリマス、然ラバ此ノ日本銀行法ガ

成立致シマシテモ、日本ノ貨幣制度ト致シ

マシテハ、ドウシテモ圓ト云フモノガ本ニ

理通貨ノ理論ヲ飽クマデ此ノ法案ニ實現スルモノデアルト云フ御考ヘデアリマスナラバ、私ト根本觀念ヲ異ニシテ居ル、遺憾ナガラ相當ノ時間ヲ戴イテ、意見ヲ交換シテ見ナケレバナラスノデアリマスケレドモ、私ハ全體ニ大臣ノ御説明ヲ承リ、サウシテ此ノ御提出法案ノ各條ヲ、彼此レ關聯セシメテ考ヘテ見マスルト、私ハ今ノヤウニ解釋シテ差支ヘナイノデヤナイカト云フ風ニモ實ハ思ツテ居ルノアリマスガ、先ヅ其ノ點ニ付テノ大臣ノ御所見ヲ承リタイト思ヒマス

○賀屋國務大臣 貨幣法ノ改正ハ致シテアリマセヌ、貨幣法第二條ハ殘ツテ居リマス、其ノ故ニ自由鑄造ノ禁止ハ當分ノ内ト云フコトニ第七十六條ニ致シテ置キマシタ、御述ベニナリマシタヤウニ貨幣法ハ殘ツテ居リマスカラ、其ノ範圍ニ於テハ御述ベノ通りデアリマス、唯武田委員ハ議論ハシナイト云フコトデアリマスカラ私モ議論ハ止メマシテ、其ノ範圍ナラバ其ノ通りデアリマス、併シ是ガ經濟上ノ問題トシテ管理通貨制度デアルカナイカト云フコトデアリマス、是ハ私モ相當議論ガアリマスガ今ハ致シマセヌ

○武田委員 議論ハ私ハ好マスノデスカラ結構デスガ、私ノ申上ダコトヲ肯定ナサツタノデセウカ、ドウモハツキリシナイノデスガ
○賀屋國務大臣 貨幣法第二條ハ殘ツテ居リマス、其ノ意味ニ於テ日本ノ貨幣ト金トノ連繫ハ殘ツテ居リマス、併シ若シソレデ管理通貨デナイト云フ御説ナラバ、私ハ直グ肯定致シ兼ねルノデゴザイマス、管理通貨制度ト云フコトハ法律上ノ文句デアリマセヌ、經濟上ノ通念デアリマス、其ノ意味ニ

於テ今度ノ日本銀行法ノ改正ニ依ツテ、私ハ事實ガ管理通貨制度ニナツテ居ルト思フノデアリマス、ソレデ管理通貨制度ニナツテ居ラス、斯ウアナタガ仰シヤレバソレハ、私ハ一寸御答ヘ致シ兼ねルノデアリマス
○武田委員 管理通貨制度ハ經濟上ノ問題デ法制上ノ問題デナイト仰シヤイマスガ、ソレハ見方ニ依ツテハサウ言ヘルコトデアリマセウ、併シナガラ通貨ノ觀念カラ致シマシテ一國ノ貨幣ハ國家ノ權力ニ依ツテ規定サレルノデアリマスカラ、法制的ノ觀念ヲ離レテ經濟的ニサウ云フモノガ獨立ニ存在スル筈ハナイノデアリマス、現在ノ經濟上ニ於テ、殊ニ戰時狀態ニ於キマシテハ、特殊ノ經濟狀態ニ即應スル爲ニ色々ナ處置ヲ執ラナケレバナラスコトモアルデアリマセウ、併シナガラ一國ノ恆久的貨幣制度ノ貨幣ト云フモノハ、申上ダルマデモナク國家ノ權能ノ重大ナルモノノ一ツデアアルコトハ申上ダルマデモナイノデアリマス、其ノ國家ノ權能ノ發動ガ、或ル場合ニ於テ、經濟的ノ制約ニ依ツテ或ハ停止スル、或ハ或ル期間多少變形スルト云フコトハアリ得ルコトデアリマスケレドモ、根本ニ國家ノ法制ト經濟ノ實際トハ、全然永久ニ離レテシマウト云フコトハアリ得ナイノデアリマス、ソレナラバ法制ヲ變ヘテカカラナケレバナラスト云フコトニナルデアアラウト思フ、然ルニ此ノ提案ハ成ル程日本銀行ニ金ノ準備ヲ條件トセズ銀行券ヲ發行スルコトヲ許シテ居リマス、其ノ點カラ言ヘバ、形ニ於テ管理通貨ト同ジ形ヲ持チ作用ヲ持ツテ居ルカモ知レヌ、ソレハ何モ日本銀行法ガ提案ニナツタカラサウナルノデナクテ、金本位ヲ一時停止シタ昭和六年十二月以來同ジ形態デ

アルノデアリマス、ソレ故ニ私ハ大臣ニ對スル質問ノ冒頭ニ申シテ置イタノデアリマスガ、既成事實ヲ法文化シタト云フ意味ニ於テハ、私ハ贊成致シマス、此ノ既成事實ヲ假ニ法文ニシタト云フコトト、將來戰後ニ於ケル經濟狀態ヲ見透シテ、ソレニ對應スル爲ニ如何ナル制度ヲ取ツテ行クカト云フコトハ是ハ別ノ問題デス、日本銀行法ハ先程モ續々大藏大臣カラ御説明ガアツタ如ク、決シテ一時的ノ便法デハナイ、是ハ戰後將來長クヲ見透シテノ根本法デアルト私ハ考ヘマス、ソレ故ニ斯ウ云フ法律ヲ御定メニナツテ、其ノ時々ノ社會情勢ニ應ジテ、ソレニ特別制限ヲ加ヘルト云フヤウナコトハアリ得ルデアリマセウガ、併シナガラ先程モ申上ダタル通り、此ノ貨幣法ガ存置シテアルト云フコト、又是等ノ日本銀行法ニ依ツテ、日本ノ貨幣制度ノ本ハ金ニ依ツテ居ルノダト云フコトヲ反證的ニ認メテ居ルデハアリマセヌカ、先程指摘致シマシタ七十六條ノ如キハソレデアリマス、當分ノ内ト云フノハ、當分ガ三年カ五年カ、十年カ十五年カ知リマセヌケレドモ、其ノ當分ノ期間ノ過ぎタ時ニハ自由鑄造ヲ許スト云フコトヲ御提案ノ條項ノ中ニ認メテ居ルデアリマセヌカ、然ラバ金ト離レタモノデナイト私ガ認メテ宜シイデセウカト云ツタラ大臣ハ御肯定ニナツテモ宜イノデハナイカ、大臣ノ頭ノ中ニ、或ハ大臣ノ貨幣學上ノ御信念トシテドウ云フコトガアルカモ知リマセヌ、一昨日カノ御話カラ見レバ、或ハ純粹ナル管理通貨論者デアルカモ知レナイ、ソレハ私ソレヲ論ズルト、先程モ申ス通り餘リ議論ガ長クナツテ、左様ナ時間ヲ與ヘラレルコトハ困難ダト思ヒマスカラ、

私ハ差控ヘマスケレドモ、現在ノ提案ト貨幣法ノ效力ノ現存シテ居ルト云フ點カラ申シテ、私先程申シタヤウナコトヲ大臣ガ御肯定ナスツテモ宜イノデヤナイカト思フノデ、念ノ爲ニ伺ツタノデスガ、併シ御肯定ガ出來ナイノデアレバ、是ハ致シ方ガナイカラ、更ニ又別ノ觀點カラ伺フコトニ致シマス

○賀屋國務大臣 貨幣法ヲ改正致シマセヌカラ、其ノ意味ニ於キマシテ貨幣ノ基礎ガ金デアルト云フ條文ハマダ殘ツテ居リマス、其ノ意味ノ御話ナラ肯定ヲ致シマス、併シ通貨ト致シマシテハ、我が國ニ於テハ日本銀行券ガ殆ド通貨ノ主要部分ヲ占メテ居リマス、ソレガ金兌換ヲ致シマセヌ、而シテ法律上ノ強制通用力ヲ持ツテ居リマスカラ、其ノ意味ニ於ケル通貨ノ様相ガ此ノ法律ニ依ツテ確定的ニドウ變ルカ、斯ウ云フヤウナコトハ、是モ武田委員モ御承知デアラウト思ヒマス、法律的ニ申セバ貨幣法ニ付テハ右ニ申述ベタダケノコトデアリマスカラ、其ノ意味ニ於キマシテハ私ハ別ニ異存ハナイノデアリマス

○武田委員 我先程モ繰返シ申上ダタルヤウニ、學究的ナ論爭ハ避ケル積リデ申上ダテ居リマスルカラ多クハ申シマセヌガ、併シ私ノ御問ヒ致シマスル意味ヲ明カニセンガ爲、ニモウ一ツ申上ダテ置キタイト思ヒマス、一昨日ノ大臣ノ答辯中ニ斯ウ云フ意味ノ御話ガアツタ、貨幣ハ物ヲ買フコトノ出來ル力ガ何等カノ「バック」ニ依ツテアルナラバ宜イノデアルト云フ意味ノ御話ガアリマシタ、サウシテ尙ホ、併シナガラ外國貿易ノ決済ハ金ヲ要スル、是ハ金ヲ向フヘ持ツテ行ツテ賣レバ

宜イノダ、斯ウ云フ意味ノコトヲ仰シヤツテ居ルノデアリマス、丁度ハ「ドイツ」ノ經濟相ノ「フンク」ノ言ツタト殆ド符節ヲ合シテ居ルト云ツテモ宜イ位ニ、同ジヤウナ表現デ同ジヤウナ意味ノ御話デアリマス、是ハドウ云フ意味ニ大臣ハ御考ヘニナツテ居ルノカ、我が國ハ管理通貨制度ヲ採ツテ、例ヘバ相手國ヲ「アメリカ」ト致シマス、「アメリカ」ガ金本位制度ヲ採ツテ、金ノ自由鑄造ヲ許シテ居ル場合ニハ、質屋サン竝ニ「ドイツ」ノ「フンク」サンノ仰シヤルコトハ言ヒ得ルデアリマセウ、併シナガラ管理通貨ガ、貨幣學上デモ、又今日ノ經濟社會ノ進歩ノ段階ニ於テモ、ソレガ適當ノモノナリト云フ根本論デアリマスルナラバ、其ノ論ヲ進メル上ニ於テモ、我が國ニモ通貨管理制度ヲ採用シテ居ル場合ニハ、相手國ニモ管理通貨制度ヲ採用シテ居ルモノト假定ノ下デナケレバ議論ガ正シクナイト思ヒマス、左様ナ場合ニハ、假ニ「アメリカ」ガ管理通貨ニナツタ、日本モ管理通貨ニナツタト云フ場合ニ、成程貿易尻ノ決濟ハ大臣ノ御説ノ如ク帳面ノ付合デアツテモ出來ル場合モアリマセウ、又「クレデット」ヲ設定シテ出來ル場合モアリマセウ、併シソレハ總テガソレデ出來ルト云フ譯デハナク、終局ハヤハリ何等カノ物デ決濟スルノ外ハナイノデアリマス、其ノ場合ハ金デ決濟シ得ル場合モアリマセウ、併シ必ズシモ金ヲ持ツテ行ツタラ決濟出來ルトハ限リマセウ、向フガ金本位制度デ自由鑄造制度ヲ執ツテ居ル場合ニハ、大臣ノ仰シヤル通り、ケレドモサウデナイ場合ニハ金ヲ持ツテ行ケバ何時デモ帳尻ノ決濟ガ出來ルトハ言ヘナイノデアリマス、ソレヲ、貿易尻ノ決濟ニハ金ヲ持ツテ

行ケバ決濟ガ出來得ルト仰シヤル其ノ觀念ノ中ニハ、金ソレ自身ハ、少クトモ一ツノ政治勢力ノ完全ニ組織セラレタル範圍ノコトハ先ヅ別問題トシマシテ、尙モ世界經濟ニ關シテ金ガ貨幣ノ單位トスルノニ、「バック」トスルノニ最モ適當デアルト云フコトヲ隱然御認メニナツテ居ル、私ハサウ認メナケレバナナイト思フ、或ハ公共範圍内、或ハ日本國內ニ於テ通貨管理ガ實行サレルカドウカト云フコトニ付テモ、私ハ疑問ヲ持ツテ居リマスガ、ソレハ假ニサウ致シマシテモ、私ハ今申上ゲタヤウナ意味ニ於テドウシテモ、大臣ノ、貿易ノ尻ハ金デ決濟出來ルデヤナイカ、ソレダケハ金ハ認メルケレドモ、ソレハ必ズシモ日本内地ニ通用スル所ノ貨幣ノ裏付ケト云フ意味デハナイノダト仰シヤルノハ、ドウモ私ハソコガハツキリシナイヤウニ思フノデアリマス、ソレカラ序ニ申上ゲマスガ、先程石坂君ノ質問ニ對シテ大臣ハ斯ウ云フコトヲ仰シヤツタ、管理通貨ニスルト將來東亞共榮圈ノ貨幣制度ヲ打立テル上ニ於テ大變ニ便宜ガアルヤウニ思フト云フヤウナ御答辯ガアツタ、私ハソレハ逆デハナイカト思フ、私ノ考ヘヲ率直ニ申上ゲレバ、戰爭ノ推移ニ依ツテドウ變化スルカ勿論分リマセウケレドモ、今日ニ於テ見透シノ出來ル限リニ於テ考ヘテ見マスルト、例ヘバ「フィリッピン」或ハ「蘭印」、アソコデハ正貨ガ「イギリヤ」或ハ「アメリカ」ニスツカリ押ヘラレテ居ルノデスカラ、最早正貨ヲ準備トスルコトハ出來ナイ、併シナガラ、アノ國ノ經濟上ノ現在ノ段階ニ於テ、如何ニ考ヘテ見テモ私ハ彼處ダケデ管理通貨ト云フコトハドウシテモ行ハレルモノデヤナイト思フ、少ク

トモアノ程度ノ國ニ於テハ難カシイト思フ、サウシマスルトドウシテモ日本ノ圓ニ嚴密ニ「リンク」スルノ外ハナイノデアリマス、言葉ヲ換ヘテ言ヒマスルナラバ、日本ノ圓ヲ準備トシテ發行スル方法ヲ執ルヨリ外仕様ガナイ、私ハ之ヲ實際的ニ申シマスルナラバ、日本ガ蘭印ナリ「フィリッピン」ニ「クレデット」ヲ設定シマシテ、サウシテ其ノ圓ヲ日本銀行ニ預金セシメマシテ、ソレヲ準備トシテ向フニ貨幣ナリ銀行券ナリヲ發行セシメルト云フ方法ヲ執ルヨリ途ガナイノデヤナイカト云フ風ニ考ヘテ居ルノデアリマスガ、左様ナ場合ニ彼等ノ貨幣ノ基本ニナルベキ日本ノ圓ガ金ニ裏付ケラレテ居ラスト云フコトハ、今日マデ南洋方面ノ、多年ノ間金ニ關聯ヲシテ「アメリカ」「イギリス」ノ勢力ノ下ニ強ク結付ケラレタル彼等民衆ノ心持ト云フモノハ——彼等ノ貨幣ノ裏付ケニナルベキ日本ノ圓ガ金ト何等ノ關係ハナイノダト云フコトヲ彼等ノ頭ニ入レルノト、金ト結付イテ居ルノダト云フ觀念トデハ此ノ貨幣制度ノ新設ト申シマスガ、改造ト申シマスガ、其ノ上ニ於テ其ノ難易ハ非常ナ相違ガアル、先程大臣ノ言ハレタコトハ寧ろ私ハ逆ノコトニナルンデヤナイカト云フ風ニ考ヘテ居ルノデアリマスガ、今申上ゲタコトニ付テ大臣ノ御考ヘガアリマナラバ伺ヒタイト思ヒマス

○賀屋國務大臣 貿易ノ決濟尻ノ金ノコトデアリマスガ、「フンク」ハドウ云フ意味デ言ツタカ私モ知リマセウガ、私ハ金ガアラバ必ズ決濟出來ルトハ申シマセウ、大體ハ經濟上ノ見透シデアリマスカラ、世界ガ一度ニ綺麗ニ管理通貨制度ニナルトモ私ハ思ヒマセウ、管理通貨制度ニ段々ニナル趨勢ニアルト思ヒマス、併シナガラマダ金本位殘ル國モアリマセウシ、事態已ムヲ得ズ金本位ヲ停止シテモ金ヲ欲シガル國モアリマセウカラ、金ト云フモノハ國際決濟市場ニ於テ相當ノ力ガ尙ホ存續スル場面ガアル、是モ世界全體ノ經濟ノ推移ノ情勢デアリマスカラ斷言ハ出來マセウガ、サウ云フコトハ相當ニ私ハマダ見テ居リマス、其ノ意味ニ於テ決濟ノ用具デアアル、御話ノヤウニ日本ガ產金獎勵ヲ致シマシテドン／＼出シマシタ時ニハ、米國ハ一定ノ値買入レマシタ、詰リ是ハ御話ノ自由鑄造ヲ認メテ居ルノト同ジコトデアアル、ソレデドン／＼出シテ石油ヲ買ヒ、銅ヲ買ヒ、機械ヲ買ハントシテオヒヒニヤツテ居リマシタ譯デアリマス、ソレデ要スルニ私ハ其ノ時ニ「アメリカ」ニ賣レバ一定ノ「ドル」價デ賣レル商品ナリト云ツテ居ツタノデス、オヒヒノ話合ヒニモサウナンデス、一ツノ物資ニ過ギナイ、割合ニ價格ガ一定シテ何處ニモ皆ク通用スル物資ナリト評シテモ宜イト思フ、其ノ意味ニ於キマシテ南方ナラ纖維品ヲ歡迎スル、雜貨ヲ歡迎スル、「アメリカ」ナラ生絲ガ欲シイ、金ナラバ方々デサウ云フ風ニ歡迎サレル、斯ウ云フ意味デス、現ニ佛印邊リデモ金ヨリハ物ヲ欲シガツテ居リマス、物カ出來ナケレバセメテ金デモ貰ヒタイト云フ位ノ所ナンデス、ソレハ實際ノ經濟ノ必要ニ應ズルノデス、併シ私ハ金ト云フモノヲマダ全然輕視スル譯ニハイカナイ、相當是ガ役ニ立ツ場合モアルダラウ、國際決濟ノ相當有用ナ用具ナリ、斯ウ云フ風ナ觀方ヲシテ居リマス、ソレハ金ノ貨幣價值ニ強ヒテ結付ケテ行クナラバ、大體ニ於テ世界歴史的ニ見テ一種ノ情性デアリマス、情力

の價值ガアル、斯ウ云フ風ナ私ハ觀方デ居ルノデアリマス

南方ノ問題ニナリマス、要スルニ通貨ノ問題モ、根本ニナリマス、多數ノ住民ノ氣持ノ問題、硬ク申セバ信念ノ問題ト申シマス、要スルニ信ズル、思フト云フコトデアリマス、金本位デ今行ツタ方ガ非常ニヤリ易イト云フヤウナ話モ御尤モカモ知レマセヌ、併シ日本ガ大東亞共榮圈ヲ築キマシテ大キナ國防力、國民ノ生活力、經濟力ヲ持ツテ行ク時ニハ、左様ナ行キ方デハ到底私ハ行クモノデヤナイ、少々困難ガアリマシテモ寧ロ其ノ困難ヲ押切ツテ離脱セナケレバ目的ヲ達シナイ(ヒヤ／＼)一寸速記ヲ止メテ……

〔速記中止〕

○武田委員 只今ノ御説明デハドウモ私ニハ諒解致シ兼ねマス、餘リ議論ニ互ルコトハ避ケマシテ深ク申シマセヌガ、併シ其ノ情性デ金ヲ尊重スル氣風ハ急ニハ取レナイガ、金ガ容易ク他ニ處分ガ出來ルノハ、情性デアルト云フノハ餘リドウモ私ハ理論的デナイト思フノデアリマス、私ノ先程申シタ中ニ於テ大臣モ先ニ御認めノ通りニ今日金ガ「アメリカナラ」アメリカニ行ツテ容易ニ政府ガ買取ツテ貿易尻ノ決済ニ都合ノ好イト云フノハ、要スルニソレハ向フガ自由鑄造ヲ許シテ居ルカラデアリマス、「アメリカ」モ管理通貨ヲ實行シテ全然金ガ自由鑄造ヲ許サレスト云フコトアレバ、金トシテ何カ別途ノ用途ガ發見サレバ別デアリマスガ、今日デハ裝飾用ノ他ハ使ヘナイ、若シ裝飾用ダケトスルナラバ金ノ値打ハ非常ニ下ツテ來ル、又其ノ値段ノ動搖モ非常ニ多イデアリマセウ、現ニ銀ノ値段ガ動搖

シテ居ル事實ヲ見テモ分ルノデアリマス、金ガ何故動搖シナイカト言ヘバ銀ヨリハ毀傷性ガ少イ、ソレヲ基トシテ各國デ金本位制ノ裏付トシテ使フト云フコトガ、金ノ價值ノ動搖ヲ防イデ居ルノデアリマス、シマスルト金ガ比較的從來ノ情性デ處分シ易イカラト云フヤウナコトデハ餘リ御考ヘ方ガ正確イデ居ルノデハナイカト思フ、政治ハ其ノ社會情勢ニ應ジテ政治ヲヤラナケレバ旨クイカヌニ相違ナイ、一定ノ理想ガアツテ一定ノ理想ニ導クヤウニスルコトモ勿論私ハ無用トハ思ヒマセヌケレドモ、現實ノ政治ニ於テ國民ノ心理狀態ヲ巧ク「キ」チシテソレニ即應スルヤウナ管理制度ヲ作ラナケレバソレハ本當ニ運用ノ出來ルモノデハアリマセヌ、餘リニ近來國家主義トカ、或ハ統制主義トカ云フヤウナコトニカブレル氣味ガアツテ何デモ國家ノ手デ出來ルヤウニ考ヘル者ガ、政府ノ所謂革新論者ノ中ニアルノヲ私モ遺憾ニ思フ、世ノ中ニ現狀維持派ト革新派トアリマスレバ、私モ革新側ニ馳セ參ズル一人デアアルノデアリマス、然ルニ近來ノ世ノ自ラ稱シテ革新論者ト云フモノ、或ハ革新官僚ト言ハレル方々ハ餘リニドウモ行過ギテハ居リハシナイカ、餘リニ唯我獨尊ノ傾キガアルヤウニ思フノデアリマス、何事モ國家權力デ總テガ出來ルモノデハナイノデアリマス、或ル法律論者ハ法律ハ國權ノ命令ダト言フケレドモ、國民ガ承認シナケレバ實行出來ナイモノデアルト云フ説ヲ稱ヘテル者ガアルガ、其ノ説ノ可否ハ別ト致シマシテソレハ事實デゴザイマス、實際國家ノ民衆ガソレヲ納得スル法律デナケレバ、如何ニ政府ガ權力ヲ以テヤラウトシテモ行ヘルモノデハナイノデアリ

マス、即チ民情ニ即スルト云フノハソコデアリマス、民情ニ即スルヤウナ法律デナケレバ、制度デナケレバ、ソレハソコニ行ハルモノデハナイノデアリマス、唯議論一片デ、サウシテ或ル一定ノ机上デ考ヘタ所ノ理想論デノミヤルト云フコトハ、私ハ斯ウ云フ場合ニハ政府カラ慎シテ戴キタイト思フ、假ニ管理通貨論ガ根本的ニ宜イト致シマシテモ、自ラ段階ガアル、國家並ニ社會ノ進歩ノ程度ノ段階如何ニ依ツテハ、ドンナ場合デモ宜イトハ仰シヤル譯デハナカラウト思フ、ドウモ私ハ其ノ點ニ向ツテ大臣ノ御所見ニ少シク了解シ兼ねルト申スカ、御賛成申上ガ兼ねルト申スカ、左様ナ考ヘ方デスガ、私ハ斯様ナコトヲ申上ゲルノハ、マダ大臣ノ御意向ヲ十分了解シナイ爲デアリマセウカ、果シテサウデアツタナラバ、今一應蒙ラ啓イテ戴キタイノデアリマス

○賀屋國務大臣 私ハ心構ヘト致シマシテ、所謂革新ニモアラズ、保守ニモアラズ、國家トシテ必要ナコトハドシ／＼ヤルガ、必要ナラザルコトハヤラスト云フ考ヘ方ヲシテ居リマス、國家ハ割合ニ舊イ體制ヲズツト持ツテ行クコトガ必要ナ段階モアリ、場合ニ依ツテハ飛躍スルコトガ必要ナコトモアル、私共デ其ノ選擇ガ旨ク出來マスカドウカ分リマセヌガ、心掛ケテサウ云フ風ニシタイト思ツテ居リマス、通貨制度ナドモ、私ハ極メテ慎重ナ考ヘ方ヲ、私トシテハ致シテ居ル次第デアリマス、「アメリカ」ナドモ御承知ノヤウニ金ガ二百二十六億六千四百萬「ドル」通貨ハ九十六億一千二百萬「ドル」デ、逆ニ金本位ヲ離脱シテ居ル、此ノ上金ガ出來テハ大變ナコトニナルカラ、ドウカ金ヲ通貨ノ本カラ除ケョウトシテ居ル、「アメリカ」ト日本トノ關係ガ斯ウ云フ風ニナリマセヌデモ、一定ノ値デ金ヲ買上ゲル方向ヲドコモデモヤツテ行カドウカ、疑問ダト私ハ思ツテ居リマス、政治關係デ疑問ダト思フノミナラズ、經濟關係デモ相當ニ疑問ニ思ツテ居リマス、唯自分ノ國デハ金ハ欲シクナイケレドモ、只デ棄テル譯ニモ行カナイ、「アメリカ」トシテハ管理通貨ガ宜イトシテモ、龐大ナ金ヲ持ツテ居ルカラ、此ノ金ノ威力ヲ働カサウトシテ、政策的、人爲的ニ金ト云フモノヲ世界ニ擴メテ行カウト云フ努力ヲスルデアラウト思ヒマス、サウ云フ場合ニハ斷然經濟的ニ叩カネバナラスト私ハ思ツテ居リマス

ソレカラ南方デゴザイマスガ、是モモウ實ハ金本位ハナイノデアリマシテ、皆爲替本位デゴザイマス、「インド」モ御承知ノヤウナ爲替本位デアリマスガ、是ハ佛印ニ致シマシテモ、「タイ」、蘭印、「マレー」、「ビルマ」等ニ致シマシテモ、皆爲替本位デゴザイマシテ、事業上ハ金本位ヲ離脱スル傾向ニ皆アルノデアリマス、支那ナドモ御承知ノ如クアレ程ノ銀貨國デアリマシタガ、「イギリス」ノ「リースロス」ノ幣制改革ニ依ツテ法幣ニナツタ、一部ノ人ハ、支那人ニ銀貨ヲ排除シテ法幣——紙幣デヤルト云フコトデ巧ク行クカト云フ疑念ヲ持ツテ居ツタ人多イノデアリマスガ、觀測トシテハ、私ハ其ノ疑念ハ尤モデアルト思ツテ居リマシタガ、案外アノ法幣ハ成功致シマシテ、紙幣國ニナツテ居ル、サウシテ法幣ニ對シテドウスルカハ、丁度今御述ベニナリマス、一面ハ、北支ノ如ク法幣ヲ殆ド追ツ拂

ヒマシテ、聯合準備銀行券ニナツテ居リマスガ、然ラバ法幣ヲ利用シナイカト言ヘバ、中支ナドデモ、敵側ノ物資ノ買付ケナドニハ相當法幣ヲマダ用ヒテ居リマス、ココラノ點ハ御話ノ如ク實情ニ應ジテ、敵性通貨ト雖モ、之ヲ逆ニ利用スル場合モアリマス、是ハ敵性通貨ノ話デアリマスルガ、南方ノ圈內ニ於キマシテモ敵性通貨ト云フモノノ其ノ機關、住民等ガ我方ニ協力スル眞ノ態勢ニナレバ、是ハ敵性通貨デナクナリマス、左様ナモノハ事實上金本位デハ、到底南方デハ働カス實情デアリマシテ、寧ロ現在アリマスルサウ云フ通貨、銀行券ヲ利用シテ行ク方ニ進ミタイ、斯ウ居フ風ナ考ヘ方デ居ルノデゴザイマス

○武田委員 モウ簡單ナコトデ、二ツ位デ終ルノデスガ……

○板谷委員長 後ノ委員會ノ準備モアルサウデ、ドウシテモ零時半ニハ切上ゲテ貰ヒタイト云フ希望ガアリマス、若シ君ガ質問ガ殘ツテ居レバ、マダ此ノ委員會ハ質問ヲ打切ル譯デハアリマセヌカラ、適當ノ機會ニ御許シシマス、本日ハ是ニテ散會致シマシテ、次會ハ明日午後一時開會致シマス、尙ホ此ノ際政府ニ要求シテ置キマスルガ、大臣ニ對スル質疑ノ通告ガマダ多數保留シテアリマスルノデ、出來ルダケ一ツ御繰合セ御出席ヲ希望致シマス

午後零時三十六分散會